ASTRO PRODUCTS

取扱説明書

ＡＰ　エンジン刈払機

●ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解してから、お使いください。

1．取扱説明書について

●この度は、アストロプロダクツ製品をお買上いただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、安全にお使いくださいますよう、お願いいたします。

●当社の許可なく、取扱説明書の内容全部または、一部を複製・改修し、無断で転載することは、禁止されています。

●安全上の注意や製品仕様などは、予告なく変更される場合があります。そのため、お客様が購入された製品と、取扱説明書に記載された内容が、一部異なる場合がありますので、ご了承ください。

2．はじめに

●この取扱説明書および、製品本体に貼り付けられたラベルは、安全に関わる重要な注意事項を、危険・警告・注意のマークを使用し表現しています。製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

●本製品を使用する前に、取扱説明書に記載されている各項目をよく読み、理解し厳守してください。取扱説明書をなくしたり、汚したりせず、使用者が任意に読むことができるよう、大切に保管してください。

●危険・警告・注意事項の意に反して、安全義務を怠り、規定外の使用による機器の破損やケガなどに関しては、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

[安全に関する表示について]

⚠ 危険	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、死亡や重傷などの、重大な傷害を負う危険が、差し迫った状態を示しています。
⚠ 警告	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、死亡や重傷などの、重大な傷害を負う可能性を示しています。
⚠ 注意	この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、人的傷害および、製品の故障や、その他、物的損害が発生する可能性を示しています。
要点	この表示内容は、製品を正しくお使いいただくため、守っていただきたい、重要な要点を示しています。

３．目次

３．目次

4．安全に使用していただくために

■作業をはじめる前に

⚠危険

●排気ガスには、一酸化炭素が含まれているので、通気がよく、常に換気のできる場所で使用してください。室内・車内・倉庫内・トンネルなど、通気の悪い場所での使用は、絶対に止めてください。
・通気の悪い場所では、一酸化炭素が溜まります。一酸化炭素を吸い込むと、ガス中毒の原因となり、非常に危険です。
●作業をはじめる前に、異物がないかよく確認してください。木片、空き缶、空きビン、石、針金、ナワ、ビニール、金属片などの異物がある場合は、全て取り除いてください。
・ナイロンカッターまたは、刈刃の損傷や、異物が飛散し、ケガや重大な事故の原因となります。
●確実に操作するために、各部の操作に慣れ、素早く運転を停止する方法を、習得してください。
・不慣れな状態での操作は、重大な事故の原因となります。

⚠警告

●使用前には、必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから、使用してください。
・使用方法が不明な場合は使用せずに、お買い求めの販売店へ、相談してください。
●危険や警告事項をよく理解し、使用してください。
・取り扱いを誤ると、事故の原因となります。
●修理技術者以外の人は、本取扱説明書に記載されていない、本体の分解・修理・改造はしないでください。
・異常作動、加熱、発火、感電など、事故の原因となります。
●過労と思われるときや、飲酒や薬物を服用しているときに、使用しないでください。
・判断力が鈍り、事故の原因となります。
●子供や妊娠中の方は、絶対に本製品を使用しないでください。
・ケガや事故の原因となります。
●本製品は、自動車整備士資格を有する方および、十分な知識をお持ちの方を対象に作られています。
・エンジンやガソリンなど、自動車の知識が必要です。
●本製品を他人に貸すときは、必ず取扱説明書も一緒に渡してください。
・誤った使い方をする可能性があり、ケガや事故の原因となります。
●警告・注意ラベルを、汚したり、剥がしたりしないでください。
・誤った使い方をする可能性があり、ケガや事故の原因となります。
●誤った使用方法により生じた、商品破損、人体への損傷、物品への損害、その他のいかなる損害に対しても、当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますので、ご了承ください。
・取扱説明書の使用方法を、よく理解してください。

４．安全に使用していただくために

■作業をはじめる前に

⚠ 警告

●本製品は、雑草を刈り払うことを、目的として作られています。

・雑草以外の物を、刈ることはできません。絶対に、目的の用途以外では、使用しないでください。

●本製品は、大切に取り扱ってください。

・落下や転倒などにより、強い衝撃が加わった場合は、必ず各部に異常がないか点検してください。

●本体が異常に熱い、異音・異臭がする、その他異常を感じた場合は、ただちに使用を中止してください。

・異常に気が付いた場合は、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店まで点検または、修理の依頼をしてください。

●以下の服装などは、巻き込まれケガをしたり、事故の原因となりますので、止めてください。

・長髪を束ねたりせずに、そのままの状態にしている。

・ネクタイや、ネックレスなどの装飾具を身に付けている。

・首に、タオルを巻き付けている。

・サイズの極端に大きな衣服や、だぶだぶの衣類を着用している。

●作業中、飛散した砂利や小石などによって。ケガの恐れがあるので、必ず次の服装・保護具を着用してください。

・袖じまりのよい長袖の上着を着用し、ボタンやファスナーは最後まで閉じ、裾はズボンに入れます。

・裾じまりのよい長ズボンを着用し、長靴着用時は裾を中に入れ、安全靴着用時は裾を上部に、挟み込みます。

・保護メガネ（ゴーグル）または、フェイスガードを着用します。

・保護帽（ヘルメット）を着用し、髪が長い場合は束ねてから、保護帽（ヘルメット）を着用します。

・滑りにくい先芯入りの長靴または、滑りにくい先芯入りの安全靴（ヒモなし）を着用します。

・防振性の高い手袋（防振手袋）を着用します。

・すね当てを着用します。

●ナイロンカッターまたは、刈刃の取り付けは、確実に行ってください。

・取り付け不良は、ケガや事故の原因となります。

●ナイロンカッターまたは、刈刃に異物が絡まっていないか、点検してください。

・異物が絡まった状態での使用は、ケガや事故の原因となります。

●作業場所に、スズメバチなどの蜂の巣がないか、確認してください。

・巣がある場合は作業せずに、専門業者に駆除の依頼をしてください。

４．安全に使用していただくために

■作業をはじめる前に

⚠ 注意

●**純正部品を、組み付けてください。**

・他製品の部品を組み付けると、思わぬ事故の原因となります。

●**組み立て前に、パーツの状態を確認してください。**

・損傷・破損、サビ、欠品などが確認できる場合は、お買い求めの販売店へ相談してください。

●**組み立て手順に従って、組み立ててください。**

・部品の組み付け不備や組み立て不良は、ケガや事故の原因となります。

●**組み立て場所は、整理整頓し、障害となるような物は置かないでください。**

・散らかった場所での作業は、ケガや事故の原因となります。

●**作業前に、ネジの緩みや部品の欠損、ナイロンカッターまたは、刈刃、各部品の取り付け状態、サビなどを、毎回必ず点検してください。**

・故障や事故を、未然に防ぐことができます。異常が確認できた場合は、使用を中止し、お買い求めの販店へ、相談してください。

●**持ち運ぶときは、エンジンを停止させ、ナイロンカッターまたは、刈刃の回転が完全に停止していることを確認してください。ショルダーベルトを肩に掛け、ハンドルをしっかり持って、持ち運んでください。**

・エンジン始動状態や、他の部位を持っての移動は、事故の原因となります。

●**刈刃装着状態で、持ち運びするときは、必ず刈刃カバーを取り付けてください。**

・刈刃は、非常に鋭利であり、ケガの恐れがあります。

●**直径φ２３０mmの刈刃を使用してください。**

・直径φ２５５mmの刈刃の使用は、本体故障の原因となります。

●**内径φ２５．４mmの刈刃を取り付けてください。**

・内径の異なる刈刃の取り付けは、事故の原因となります。

●**市販のナイロンカッターや刈刃は、その商品に付属されている取扱説明書に従って、取り扱ってください。**

・取扱説明書に従わずに使用することは、ケガや事故の原因となります。

４．安全に使用していただくために

■燃料の給油

⚠ 危険

●燃料の給油は、安全確認を怠ると、火災や爆発の危険があります。次の内容に、必ず従ってください。

・タバコを吸わない。

・火気や火気を発生させる物の側で給油しない。

・通気のよい場所で給油する。

・静電気を除去してから給油する。

・エンジンを停止させる。

●給油後は、燃料の漏れがないことを確認し、燃料が漏れている場合は、絶対に使用しないでください。

・漏れた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

●燃料がこぼれた場合は、ただちに拭き取り、完全に乾燥するまでは、絶対に給油しないでください。

・こぼれた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

●エンジン始動は、給油した場所より、３ｍ以上離れた場所で始動してください。

・燃料がこぼれている可能性があり、こぼれた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

⚠ 警告

●タンクキャップは、確実に締め付けてください。

・締め付け不足は、燃料漏れの原因となります。

●燃料が、皮膚に付着してしまった場合は、以下の処置を施してください。

・石けんと水で、よく洗い流してください。

●燃料が、誤って口や目に入った場合は、ただちに以下の処置を施してください。

・ただちにきれいな水で、少なくとも１０分間はよく洗い流し、医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

●燃料給油中、燃料タンク内に水が入らないよう、注意してください。

・エンジン始動困難、エンジン不調、本体故障の原因となります。

●無鉛レギュラーガソリンと２サイクルエンジンオイルを混ぜ合わせた燃料を使用してください。

・他の燃料の使用は、止めてください。

●本製品は、混合ガソリンを使用するため、混合比（１：４０）を間違わないでください。

・混合ガソリン以外の燃料の給油や、混合比を間違うと、エンジン始動困難、エンジン不調、本体故障の原因となります。

４．安全に使用していただくために

■作業時

⚠危険

●ショルダーベルトは、必ず装着してください。

・ショルダーベルトを装着しないと、万が一転んだときに、回転しているナイロンカッターまたは、刈刃が身体にあたり、ケガや事故の原因となります。

●ケガや重大な事故の原因となるので、次の操作は、絶対に止めてください。

・ナイロンカッターまたは刈刃に、顔や手を近づけた状態で、スロットルを操作する。
・回転しているナイロンカッターまたは刈刃に、手や足を近づける。
・回転しているナイロンカッターまたは刈刃を、膝より上にあげる。
・身体に近い状態で、ナイロンカッターまたは刈刃を、回転させる。

●作業中は、半径１５m以内に、作業者以外の人や動物を近づけないでください。

・石や刈った草、刈刃の破片が飛散し、ケガや事故の原因となります。

●２人で刈り払い作業するときは、お互いに１５m以上間隔を開けてください。

・近づき過ぎたりしないよう、作業中は十分注意してください。

●作業者に近づくときは、１５m以上離れた場所から合図し、エンジンが停止したことを確認してから、近づいてください。

・合図せずに近づくと、作業者が気付かず、重大な事故の原因となります。

●巻き付いた草を、取り除くときは、必ずエンジンを停止してください。また、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグキャップを抜いてください。

・エンジン始動中に作業すると、草を取り除いた途端に、回転する可能性があり、ケガや重大な事故の原因となります。

●刈刃は、必ず右から左に振りながら、草を刈ってください。

・左から右に振りながら草を刈ると、勢いよく跳ね返るキックバックが発生し、刈刃の破損、ケガや事故の原因となります。

●電線やガス管などが設置されている場所では、切断させないよう、十分注意してください。

・電線やガス管の切断は、重大な事故の原因となります。

４．安全に使用していただくために

■作業時

⚠警告

●次の作業環境下では、使用しないでください。人体への損傷や、物品への損害など、重大な事故の原因となります。

・足元が滑りやすく、不安定な場所
・早朝や夜間、霧が発生し視界が悪く、周囲の安全をよく確認できないとき
・吹雪、強風、雷の発生など、悪天候時
・急傾斜など、転倒の恐れがある場所
・ガソリン、軽油、灯油などの、燃料がある場所
・腐食性ガスの発生する場所
・通気が悪く、換気のできない場所
・木片、空き缶、空きビン、石、針金、ナワ、ビニール、金属片などの異物が落ちている場所

●使用者の体質によって、指が白くなり感覚がなくなる症状や、手や指、腕がしびれたり、冷え、こわばりなどが持続的に現れる、振動障害を発症することがあります。発症には個人差があり、発症させないためにも、次の内容を守ってください。

・作業時間を制限し、振動を受ける時間を減らしてください。
・身体を温かく保ってください。
・手や指先、腕を冷やさないでください。
・頻繁に休憩をとってください。
・腕の運動をし、血行をよくしてください。
・作業中の喫煙は、止めてください。
・振動障害の症状が見られた場合は、ただちに作業を中止し、医師の診断を受けてください。

●国有林では、作業者の健康管理のため、作業時間の基準が設けられています。長時間作業による、振動傷害の発症を防ぐためにも、次の時間および、日数内で作業してください。

・１回の連続作業時間：３０分以内
・１日の作業時間：２時間以内
・連続作業日数：３日を限度
・１週間の作業日数：５日以内
・１ヶ月の作業時間：４０時間以内

●周辺温度が４０℃以上になる高温な場所、直射日光下では、使用しないでください。

・高温による脱水症状や、熱中症になる恐れがあります。休憩をこまめに行い、十分な水分補給をしてください。

●原則２人で作業を行い、１人が周囲の安全を確保してください。

・安全確保を怠ると、人への傷害や、建物などへ損害を与える恐れがあります。

４．安全に使用していただくために

■作業時

⚠ 警告

●作業に集中すると、周囲への安全確認が疎かになり、事故を招く可能性があります。

・作業手順や、周辺の状況などを、よく確認してください。

●ナイロンカッターまたは、刈刃の高さが、地面より約１０ｃｍの高さで水平になるよう、ショルダーベルトを調整し、正しい位置で保持してください。

・調整するときは、必ずエンジンを停止し、地面より約１０ｃｍの高さを保持できない場合は、使用を止めてください。

●極端に身長が高い人または、身長の低い人は、正しい位置で、本体を保持できない可能性があります。

・地面より約１０ｃｍの高さを保持できない場合は、使用を止めてください。

●正しい位置で保持し、無理な姿勢では、使用しないでください。

・ケガや事故の原因となります。

●刈刃を取り付けるときは、受具に刈刃の穴を、確実にはめてください。

・ガタつきなどの取り付け不良は、異常作動、ケガや事故の原因となります。

●飛散防護カバーを、必ず指定された位置に取り付けてください。

・指定外の位置での取り付けや、飛散防護カバーの非装着状態は、身体への飛散量が増え、石などの硬い物があたり、ケガや事故の原因となります。

●濡れた手で使用しないでください。

・感電する恐れがあります。

●身体をアースさせる物に、接触させないでください。

・感電する恐れがあります。

●エンジン始動は、平らな場所に置き、本体をしっかり押さえながら、始動してください。

・肩から掛けた状態や、不安定な場所でのエンジン始動は、ケガや事故の原因となります。

●エンジン始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

・ケガや事故の原因となります。

●作業中は、グリップとスロットルグリップを、囲みこむようしっかり握ってください。

・片手での操作や、指先だけで握って操作すると、振動により思わぬ方向に向き、ケガや事故の原因となります。

●不意なスロットル操作は、止めてください。

・突然の回転により、思わぬ事故の原因となります。

●スロットルを、針金などを巻き付けて、固定しないでください。

・誤作動を起こす可能性があり、ケガや事故の原因となります。

●ナイロンカッターを、地面に食い込ませたり、掘り返す刈り方は、止めてください。

・砂や砂利、石などが飛散し、大変危険です。

4．安全に使用していただくために

■作業時

⚠警告

●打つ、叩くなどの刈り方は、止めてください。

・勢いよく跳ね返るキックバックや、ナイロンカッターまたは、刈刃が破損し、ケガや事故の原因となります。

●枝打ち作業には、使用しないでください。

・ケガや事故の原因となります。

●石、縁石、壁、フェンス、木の根、杭などの、硬質な固定物がある場所では、刈刃を使用しないでください。

・勢いよく跳ね返るキックバックや、刈刃が破損し、ケガや事故の原因となりますので、ナイロンカッターまたは、手刈りで草を刈ってください。

●刈刃が、障害物に接触した場合、ただちにエンジンを停止し、曲がりやヒビ、割れ、欠損などの、損傷や破損がないか、点検してください。

・損傷や破損した状態での使用は、破片が飛散する恐れがあり、ケガや事故の原因となります。

●ホコリよけカバーを掛けたまま、使用しないでください。

・エンジンやマフラーの熱で、カバーが溶ける恐れがあり、火災の原因となります。

●素手でナイロンカッターまたは、刈刃に詰まった草を、取り除かないでください。必ず、安全手袋を着用してください。

・ケガの原因となります。

●エンジン始動中に、プラグコード、プラグキャップに触れないでください。

・感電の恐れがあります。

●エンジンを始動させた状態で、放置しないでください。本製品から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。

・不意に作動する可能性があり、ケガや事故の原因となります。

●エンジン始動中のエンジン、マフラー、その周辺は、大変高温になりますので、エンジンカバーを外さないでください。

・手で触れるとヤケドの恐れがあり、周囲に燃えやすい物があると、火災の原因となります。

●エンジン停止直後の、エンジン、マフラー、その周辺は、大変高温になっています。

・手で触れるとヤケドの恐れがあり、周囲に燃えやすい物があると、火災の原因となります。

●作業中、ハチに刺された場合、重症化する可能性がありますので、適切に処置してください。

・体調の異変に気が付いた場合は、ただちに医師の診断を受けてください。

４．安全に使用していただくために

■作業時

⚠ 注意

●刈刃カバー取り付けているときは、必ず作業前に取り外してください。

・取り付けた状態での使用は、ケガや本体故障の原因となります。

●エンジン始動は、操作手順に従ってください。

・始動手順に従わないと、エンジン始動困難や、ケガや事故の原因となります。

●温度が５℃以下の場所では、使用しないでください。

・エンジン始動困難な場合があります。

●エンジンの回転数が低いと、草が絡まりやすくなります。

・故障の原因となるので、回転数を調整しながら、作業してください。

●草が絡まった状態では、使用しないでください。

・本体故障や、事故の原因となります。

●付属のキーレンチやＨＥＸレンチを使用した後は、必ず取り外してください。

・使用箇所に取り付けた状態での使用は、ケガや事故の原因となります。

●作業中、蚊、蛾、ケムシなどの、虫に刺されることがありますので、虫よけの対策を施してください。

・虫に刺されたときは、適切に処置してください。

●手刈りで、鎌を使用するときは、ケガに十分注意してください。

・鎌の取り扱いは、その商品に付属されている取扱説明書に従ってください。

●手刈りは、中腰作業になり、腰などに負担が掛かります。

・長時間作業せずに、こまめに休憩を取ってください。

●刈り取った草を処理するときは、素手で作業しないでください。

・草でかぶれたり、トゲが刺さったりする可能性があるので、安全手袋などを着用してください。

●万が一に備え、必ず救急箱を作業場所に備え付けてください。

・使用した物は、必ず補充し、何時でも使用できるよう、備えてください。

４．安全に使用していただくために

■点検・保管

⚠危険

●点検・清掃するときは、エンジンを停止し、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグキャップを抜いてください。

・エンジン始動状態での作業は、ケガや重大な事故の原因となります。

⚠警告

●エンジンやマフラーが、完全に冷めてから、点検・運搬・保管してください。

・加熱された状態での点検・運搬・保管は、ヤケドや火災など事故の原因となります。

●燃料タンク内に、燃料を入れたまま運搬・保管しないでください。

・燃料がこぼれる恐れがあり、火災の原因となりますので、必ず燃料を抜いてください。

⚠注意

●１ヶ月以上、長期間使用しないときは、必ず燃料を抜いてください。

・燃料の劣化により、エンジン始動困難や故障の原因となります。

●使用者以外、保管場所に近づけないでください。

・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

●施錠のできる場所に、保管してください。

・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

●整理整頓された場所に保管してください。

・障害物がある状態は、ショルダーベルトやメインパイプが引っ掛かり、倒れる恐れがあります。

●刈刃装着状態で、保管するときは、必ず刈刃カバーを取り付けてください。

・刈刃は、非常に鋭利であり、ケガの恐れがあります。

5．重要ラベル

●安全な取り扱いのために、本体に貼られている、重要ラベルを全て読み、指示に従ってください。

・ラベルを、汚したり、剥がしたりせず、常にきれいにしてください。

貼り付け位置：1

15m

貼り付け位置：2

AP160520 エンジン刈払機

ASTRO PRODUCTS

2ストローク 22cc 1:40混合油

貼り付け位置：3

⚠注意

・使用時には、エンジン本体に砂・埃などがかからないよう十分注意してください。

・エアフィルターが汚れた時は、ぬるま湯と中性洗剤を使用し、洗浄してください。

・エアフィルターを取り外した状態では使用しないでください。エンジン故障の原因となります。

・使用２０時間毎に、ギアケース注油口よりグリースを補給してください。

・連続使用時間は、25分以内としてください。

貼り付け位置：4

⚠警告

使用前に、必ず付属の取扱説明書を良く読み製品の使用方法・注意事項を良く理解した上正しく使用してください。また、取扱説明書はなくさないよう大切に保管してください。

3

4

2

6

1

5

貼り付け位置：5

⚠警 告

このセーフティーガードの裏側にワイヤーカッターの刃があります。手、指などを切断しないようご注意ください。

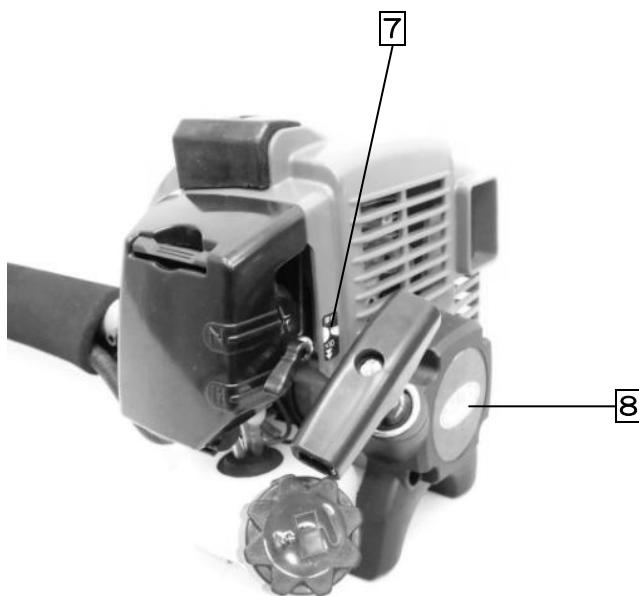
貼り付け位置：6

⚠警 告

ブレードの調整や交換を行うときは必ず保護グローブを身に付けてください。またブレードの回転が完全に止まるまで、絶対に触らないでください。

5．重要ラベル

●安全な取り扱いのために、本体に貼られている、重要ラベルを全て読み、指示に従ってください。

・ラベルを、汚したり、剥がしたりせず、常にきれいにしてください。

６．製品仕様

商品コード	２０１６０００００５２０２
商品型番	ＡＰ１６０５２０
エンジン種類	空冷２サイクルガソリンエンジン
排気量	２２ｃｃ
最大出力	０．７ｋＷ
始動方式	リコイルスターター
スパークプラグ	ＷＳＲ６Ｆ（ＢＯＳＣＨ）　他社：ＢＰＭＲ６Ａ（ＮＧＫ）
燃料タンク容量	０．４Ｌ
燃料	混合ガソリン
混合比	１：４０
対応刈刃直径	φ２３０mm
対応刈刃内径	φ２５．４mm
重量	約５Ｋｇ
全長	約１，６８０mm（ナイロンカッター非装着時）
付属品	※１９ページ参照

●製品改良のため、主要機能および形状などは、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

●本製品は、６ヶ月保証対象品（※６０ページ［製品保証書]参照）です。

７．製品説明

●２サイクルガソリンエンジン式の刈払機です。

●ナイロンカッターが付属しているので、すぐに草を刈ることができます。なお、付属のナイロンカッターはテスト用になり、市販の物よりワイヤーが短くなっているので、ご了承ください。

●市販の刈刃の取り付けも可能です。直径φ２３０mm、内径φ２５．４mmの刈刃に対応します。

●手元で、停止操作が行えるので、不測の事態が発生しても、すぐにエンジンを停止することができます。

８．各部名称・説明

[８－１．各部名称]

１．本体

８．各部名称・説明

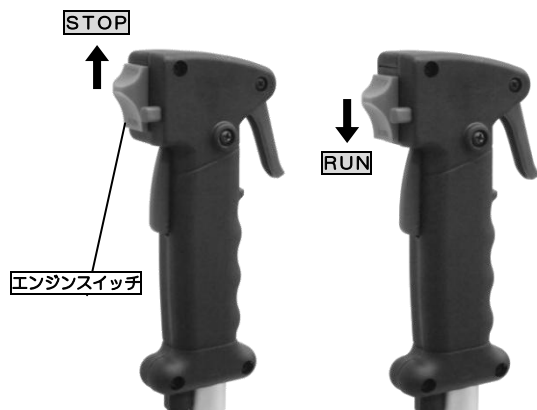
[８－１．各部名称]

２．付属品

受具ワッシャー×１ ※開封時は、本体に取り付けられています。	受具×１ ※開封時は、本体に取り付けられています。	ナット（逆ネジ）×１
ナットガード×１	ナイロンカッター（テスト用）×１ ※開封時は、本体に取り付けられています。	飛散防護カバー×１
ショルダーベルト×１	グリップハンドル×１	混合タンク×１
ＨＥＸ４mmレンチ×１	ＨＥＸ５mmレンチ×１	８×１０mmスパナ×１
キーレンチ×１	本体（スロットルハンドル付き）×１	

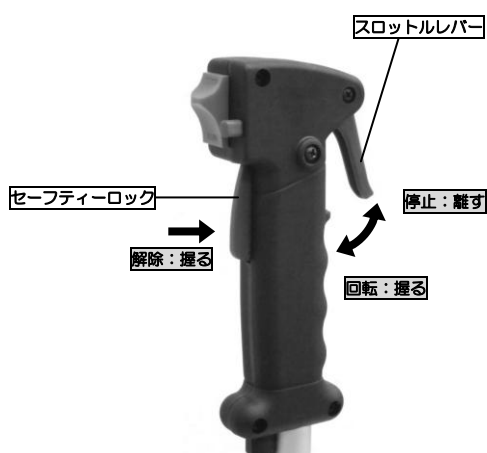
８．各部名称・説明

[８－２．各部説明]

１．エンジンスイッチ

・エンジンの始動・停止スイッチです。

・ＳＴＯＰ：エンジン停止

・ＲＵＮ：エンジン始動

２．スロットルレバー

・回転・停止を操作するレバーです。

・停止：離す

・回転：握る（徐々に握ると回転も徐々に上がります）

重要

●誤作動を防止するため、セーフティーロックが付いています。

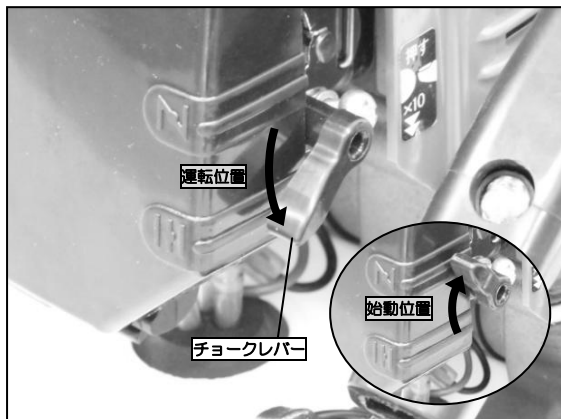
・スロットルレバーを操作するときは、セーフティーロックも一緒に握ってください。

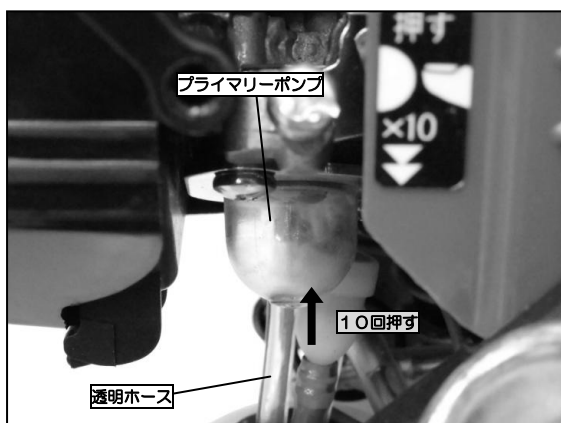
３．スロットルロック

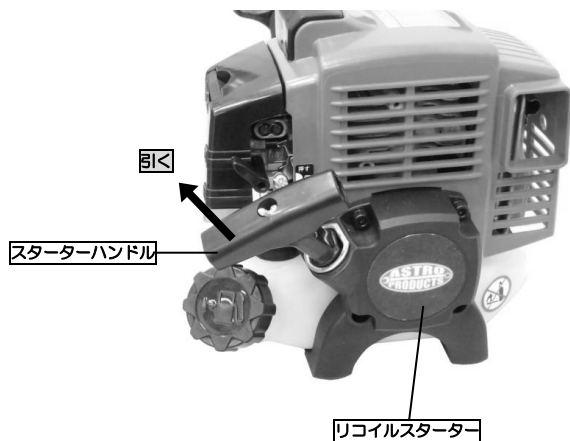
・スロットルレバーを握った状態で、スロットルロックを押すと、握った状態で保持できます。

８．各部名称・説明

[８－２．各部説明]

４．チョークレバー

・冷感時のエンジン始動を、容易にするレバーです。
・：運転位置
・：始動位置
・エンジンが暖まっているときは、「運転位置」で、エンジンを始動してください。

５．プライマリーポンプ

・始動時に、燃料を送り込むポンプです。
・１０回押し、透明ホースからタンク内に燃料が戻ると、燃料が送り込まれた状態です。
・１０回以上、押さないでください。

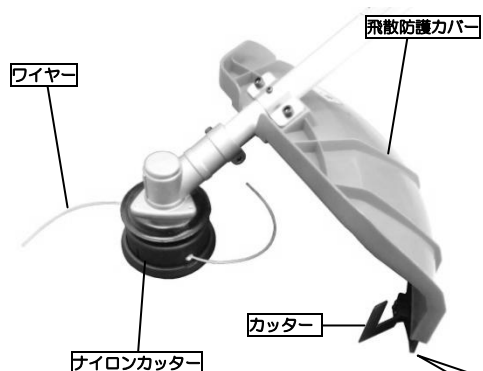
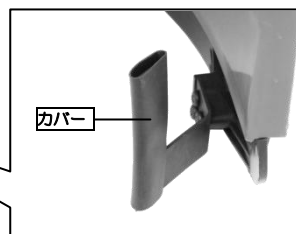
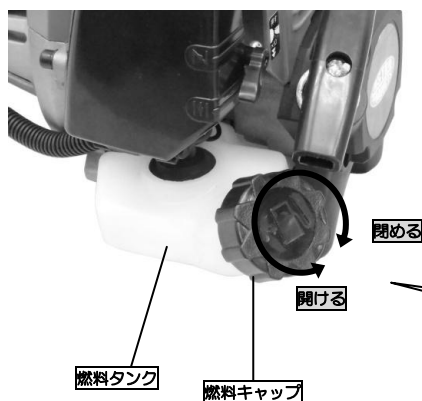
６．リコイルスターター

・エンジンを始動させるための、スターターです。
・スターターハンドルを、勢いよく引くことにより、エンジンが始動します。

８．各部名称・説明

[８－２．各部説明]

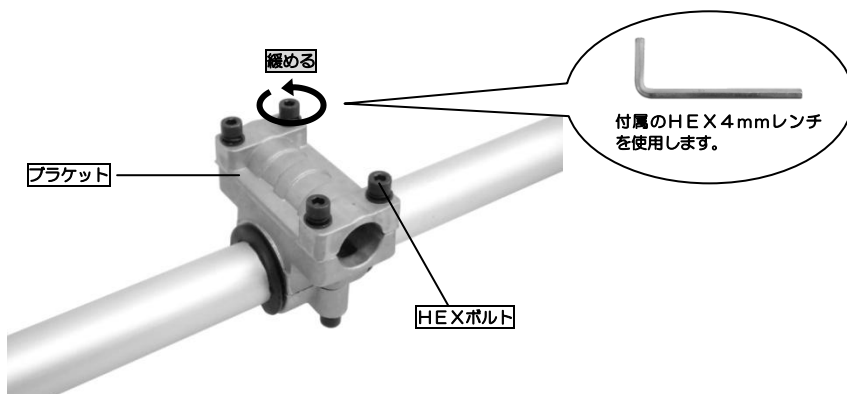
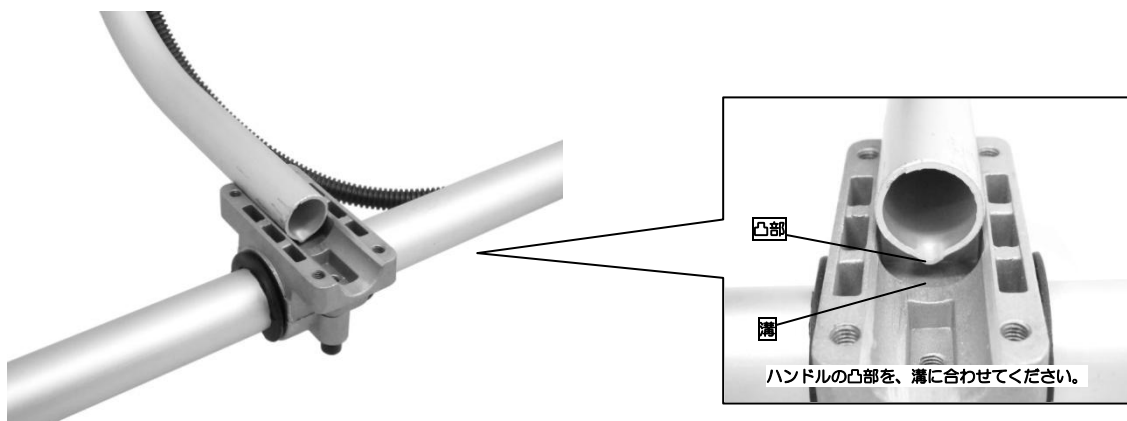
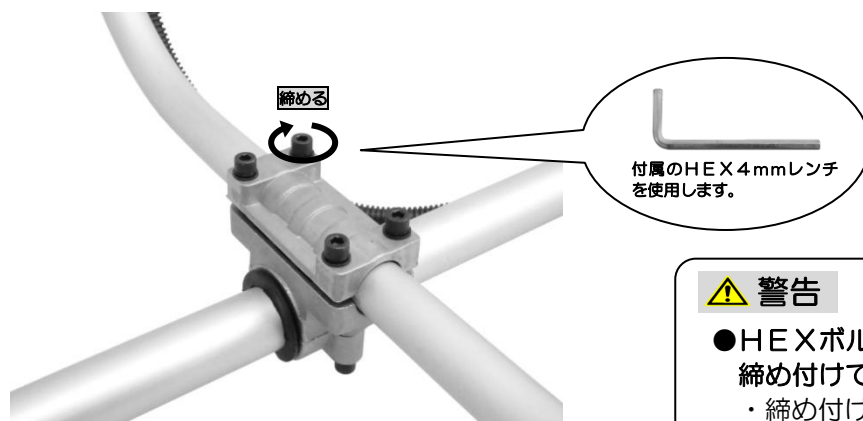
７．ショルダーベルト

・肩から掛けるベルトです。
・長さの調整が可能です。
・作業時には、必ずショルダーベルトを肩から掛け身体に合わせて、調整してください。

８．飛散防護カバー

・刈り取った草や、石が身体に飛散してくることを、防ぐカバーです。
・ナイロンカッターのワイヤーを、適度な長さに切断するカッター付きです。
・カッターには、保護用のカバーが付いています。

９．燃料タンク

・混合燃料を給油するタンクです。
・容量：０．４Ｌ
・燃料給油後は、燃料キャップを確実に締め付けてください。

９．各部取り付け

[９－１．ハンドルの取り付け]

1　ＨＥＸボルトを緩め、ブラケットを取り外します。

2　スロットルハンドル、グリップハンドルを取り付けます。

3　ブラケットを取り付け、ＨＥＸボルトを締め付けます。

⚠警告

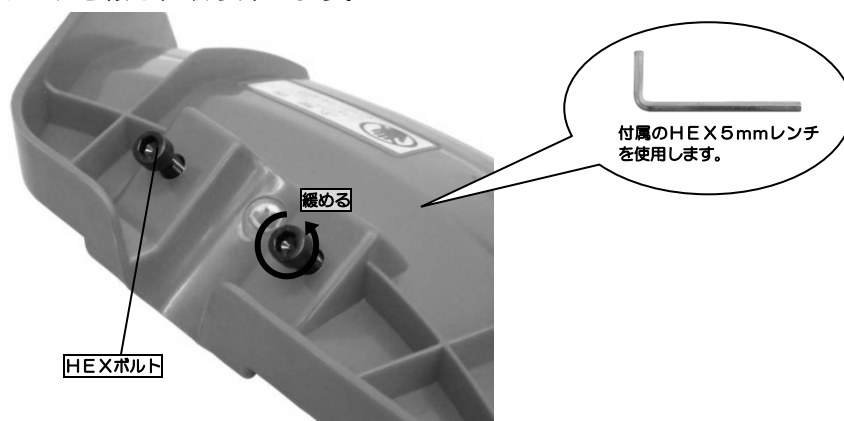
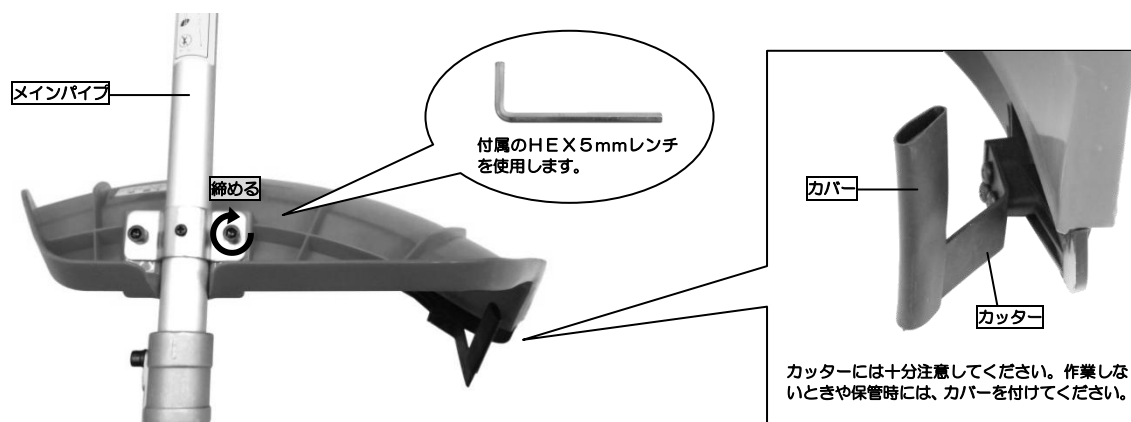
●ＨＥＸボルトは、左右均等に、確実に締め付けてください。
・締め付け不足は、ハンドルが緩みケガや事故の原因となります。

９．各部取り付け

[９－２．飛散防護カバーの取り付け]

⚠ 警告

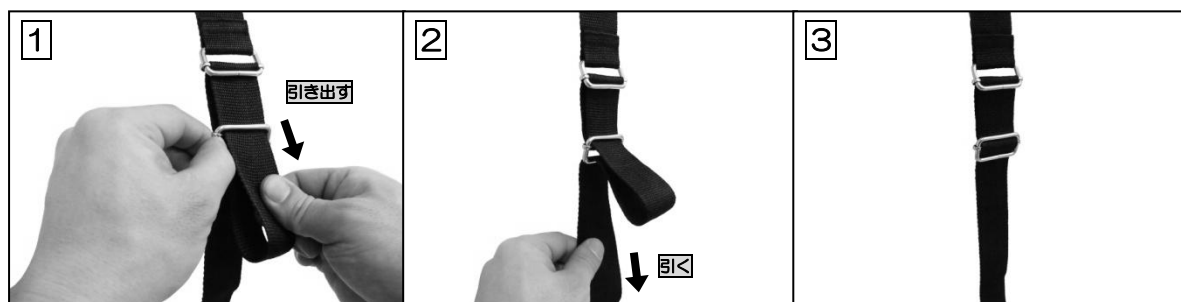
●飛散防護カバーを、必ず指定された位置に取り付けてください。
・指定外の位置での取り付けや、飛散防護カバーの非装着状態は、身体への飛散量が増え、石などの硬い物があたり、ケガや事故の原因となります。

1　ＨＥＸボルトを緩め、取り外します。

2　メインパイプに飛散防護カバーを取り付け、ＨＥＸボルトを締め付けます。

9．各部取り付け

[9－3．ショルダーベルトの取り付け]

1 ハンガーに、ショルダーベルトを取り外します。

2 ショルダーベルトの調整方法

[長くする]

[短くする]

１０．ナイロンカッター・刈刃の交換

[１０－１．ナイロンカッター]

１．交換作業時の留意事項

⚠警告

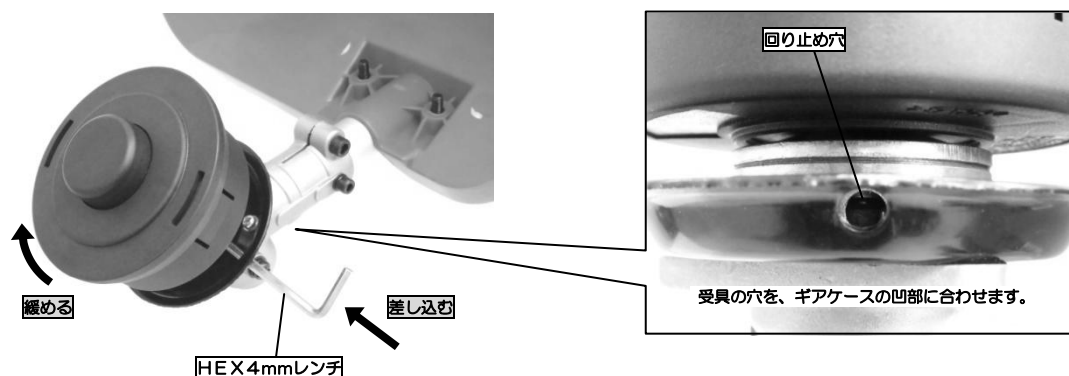
●必ず、エンジンが停止した状態で、交換してください。
・エンジン始動状態での交換は、ケガや事故の原因となります。
●エンジン停止後は、すぐには回転が停止しません。回転が完全に停止してから、交換してください。
・回転中の交換は、ケガや事故の原因となります。
●ナイロンカッターの取り付けは、確実に行ってください。
・取り付け不良は、ケガや事故の原因となります。
●燃料キャップを、確実に閉めてください。
・燃料が、こぼれる恐れがあります。

⚠注意

●市販のナイロンカッターは、その商品に付属されている取扱説明書に従って、取り扱ってください。
・取扱説明書に従わずに使用することは、ケガや事故の原因となります。
●交換は、必ず安全手袋を着用してください。
・素手の交換は、ケガの原因となります。
●純正部品を、組み付けてください。
・他製品の部品を組み付けると、思わぬ事故の原因となります。
●組み立て前に、パーツの状態を確認してください。
・損傷・破損、サビ、欠品などが確認できる場合は、お買い求めの販売店へ相談してください。
●組み立て手順に従って、組み立ててください。
・部品の組み付け不備や組み立て不良は、ケガや事故の原因となります。
●組み立て場所は、整理整頓し、障害となるような物は置かないでください。
・散らかった場所での作業は、ケガや事故の原因となります。

２．取り外し

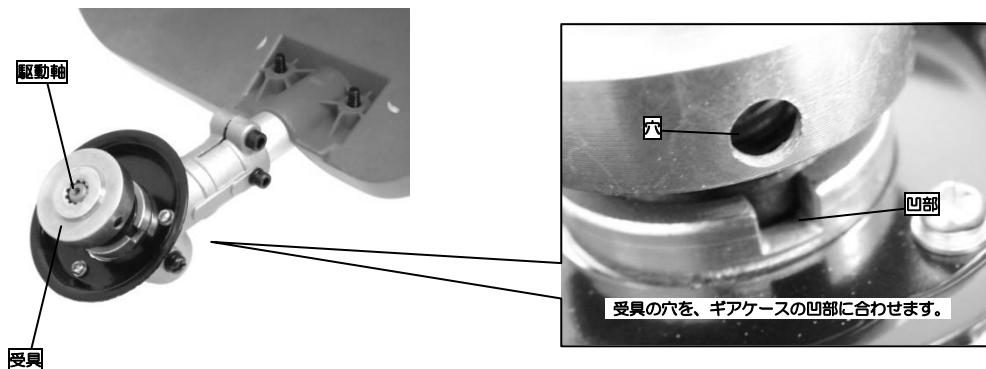
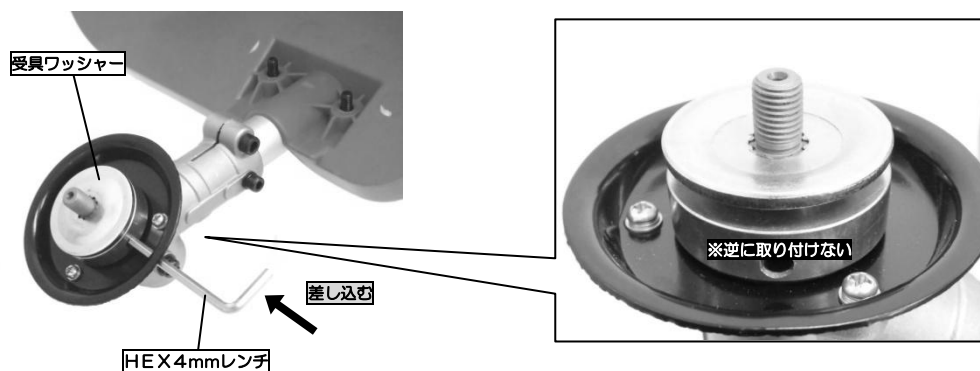
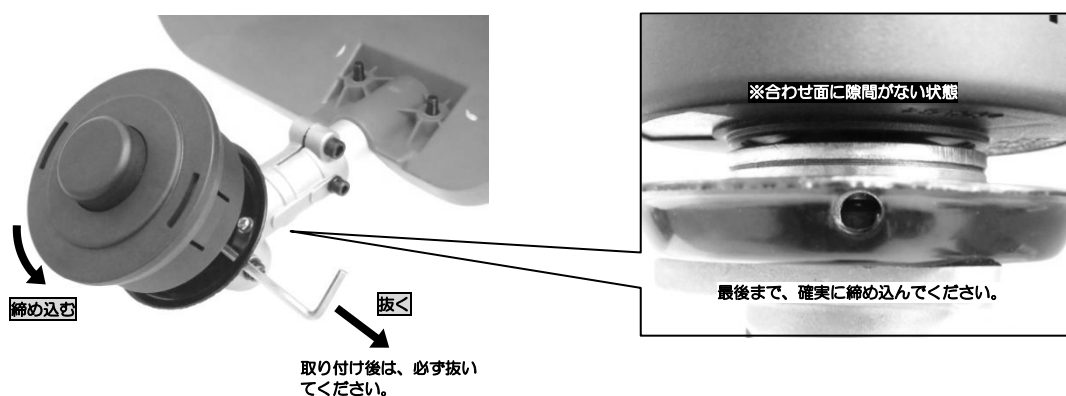
1 回り止め穴にＨＥＸ４mmレンチを差し込み、ナイロンカッターを緩めて取り外します。

重要

●駆動軸は逆ネジになります。取り付け・取り外しは、注意してください。
・時計回り方向：緩む
・反時計回り方向：締まる

１０．ナイロンカッター・刈刃の交換

[１０－１．ナイロンカッター]

３．取り付け

1 駆動軸に、受具を取り付けます。

2 受具ワッシャーを取り付け、ＨＥＸ４mmレンチを、回り止め穴に差し込みます。

3 ナイロンカッターを、締め込みながら取り付けます。

⚠警告

●取り付け後は、ガタつきがないか確認してください。ガタつきがある場合は、取り付け直してください。
・ガタつきは、ケガや事故の原因となります。

１０．ナイロンカッター・刈刃の交換

［１０－２．刈刃（別売）］

１．交換作業時の留意事項

⚠警告

●必ず、エンジンが停止した状態で、交換してください。
・エンジン始動状態での交換は、ケガや事故の原因となります。
●エンジン停止後は、すぐには回転が停止しません。完全に回転が停止してから、交換してください。
・回転中の交換は、ケガや事故の原因となります。
●刈刃の取り付けは、確実に行ってください。
・取り付け不良は、ケガや事故の原因となります。
●燃料キャップを、確実に閉めてください。
・燃料が、こぼれる恐れがあります。

⚠注意

●市販の刈刃は、その商品に付属されている取扱説明書に従って、取り扱ってください。
・取扱説明書に従わずに使用することは、ケガや事故の原因となります。
●交換は、必ず安全手袋を着用してください。
・素手の交換は、ケガの原因となります。
●純正部品を、組み付けてください。
・他製品の部品を組み付けると、思わぬ事故の原因となります。
●組み立て前に、パーツの状態を確認してください。
・損傷・破損、サビ、欠品などが確認できる場合は、お買い求めの販売店へ相談してください。
●組み立て手順に従って、組み立ててください。
・部品の組み付け不備や組み立て不良は、ケガや事故の原因となります。
●組み立て場所は、整理整頓し、障害となるような物は置かないでください。
・散らかった場所での作業は、ケガや事故の原因となります。
●直径φ２３０mmの刈刃を使用してください。
・直径φ２５５mmの刈刃の使用は、本体故障の原因となります。
●内径φ２５．４mmの刈刃を取り付けてください。
・径の異なる刈刃の取り付けは、事故の原因となります。

重要

●刈刃、刈刃カバーは、付属していません。
・別途、用意してください。

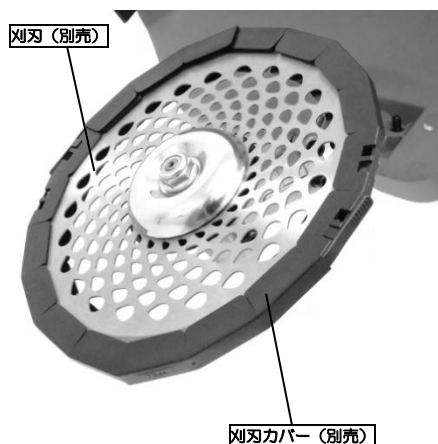
１０．ナイロンカッター・刈刃の交換

［１０－２．刈刃（別売）］

２．刈刃カバー（別売）について

●刈刃を交換するときは、刈刃カバーを付けてください。

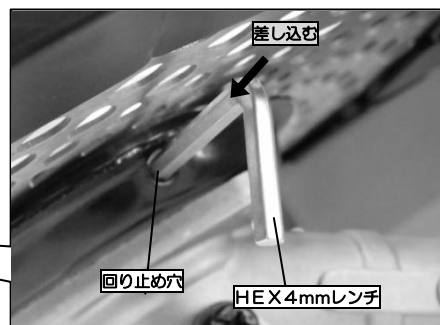
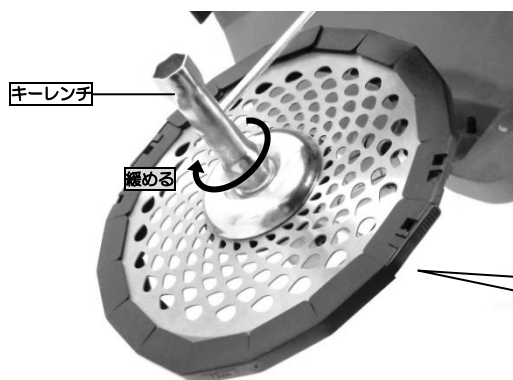
・刈刃カバー未装着状態は、ケガの恐れがあります。

・刈刃カバーの取り扱いは、その商品に付属されている取扱説明書に従ってください。

⚠注意

●刈刃カバーを取り付けるときは、必ず安全手袋を装着してください。

・安全手袋未装着状態は、手や指をケガする恐れがあります。

３．取り外し

1 回り止め穴にＨＥＸ４mmレンチを差し込み、キーレンチでナットを緩め、刈刃を取り外します。

重要

●駆動軸は逆ネジになります。取り付け・取り外しは、注意してください。

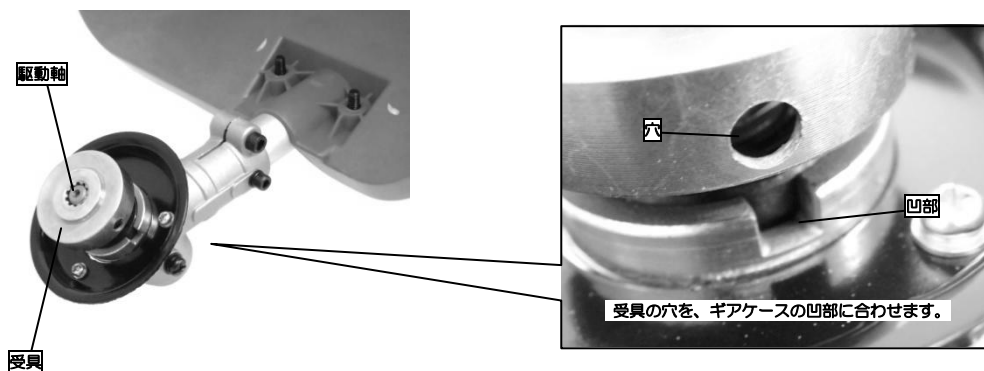
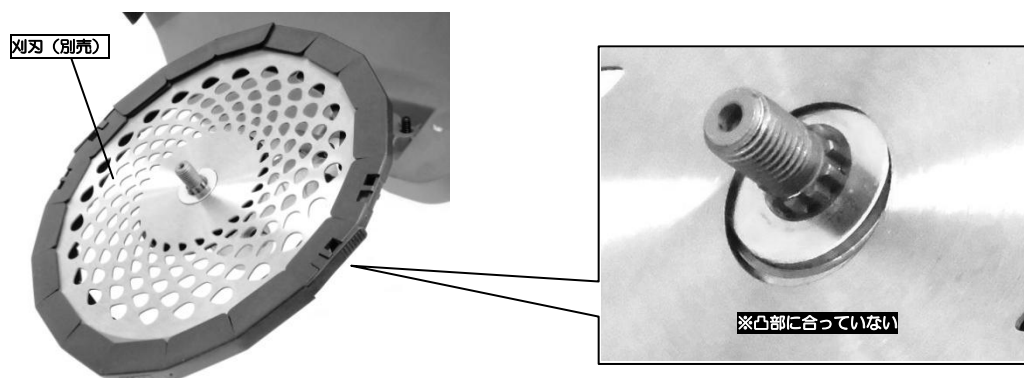
・時計回り方向：緩む

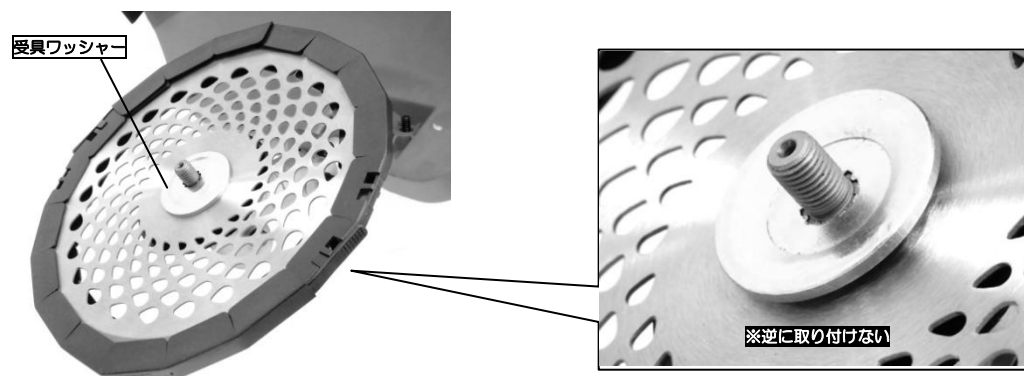
・反時計回り方向：締まる

１０．ナイロンカッター・刈刃の交換

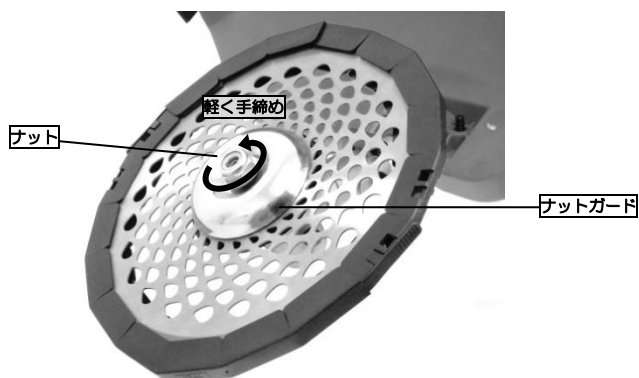
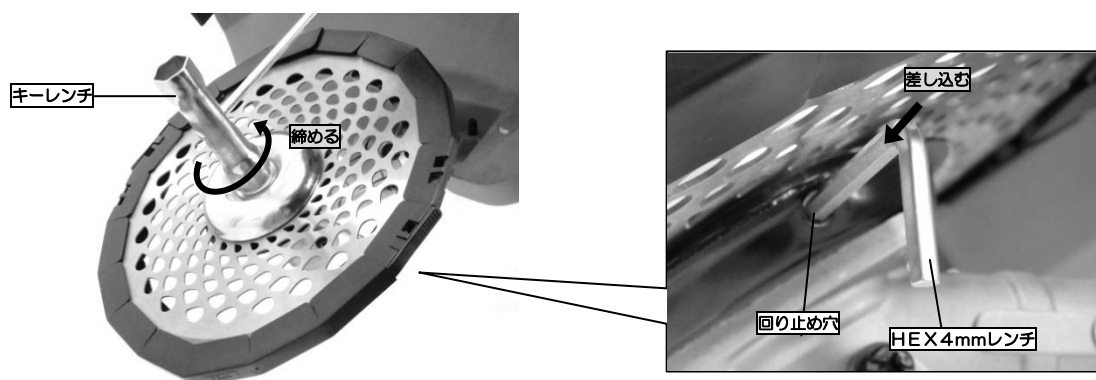
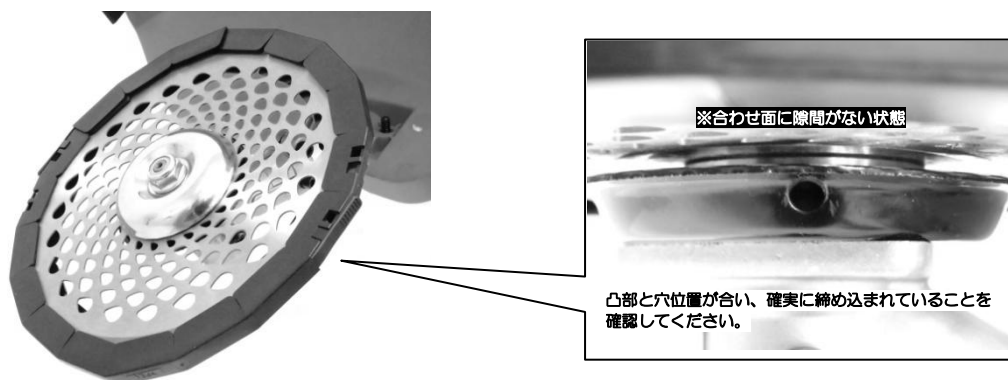
［１０－２．刈刃（別売）］

４．取り付け

1 駆動軸に、受具を取り付けます。

2 受具の凸部と、刈刃の穴が確実に合うように取り付けます。

3 受具ワッシャーを、取り付けます。

１０．ナイロンカッター・刈刃の交換

［１０－２．刈刃（別売）］

４．取り付け

4 ナットガードを取り付け、ナットを手締めします。

5 回り止め穴にＨＥＸ４mmレンチを差し込み、キーレンチでナットを締め込み、刈刃を取り付けます。

6 刈刃取り付け後は、ガタつきがないか確認してください。

⚠警告

●ガタつきがある場合は、取り付け直してください。
・ガタつきは、ケガや事故の原因となります。

１１．作業前点検

[１１－１．各部点検の留意点]

⚠危険

●点検するときは、エンジンを停止し、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグキャップを抜いてください。
・エンジン始動状態での作業は、ケガや重大な事故の原因となります。

⚠警告

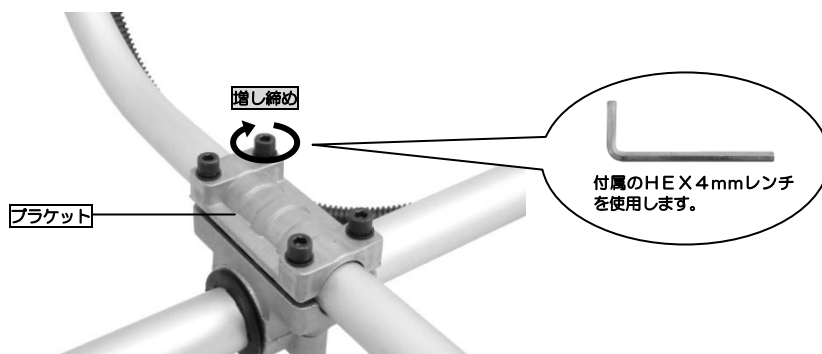
●本体を平らな場所に置いて、点検してください。
・不安定な場所での点検は、ケガや事故の原因となります。

●故障と事故を未然に防ぎ、安全に使用するため、次の点検をしてください。点検によって、異常が確認された場合は、使用を中止し、お買い求めの販売店へ、相談してください。

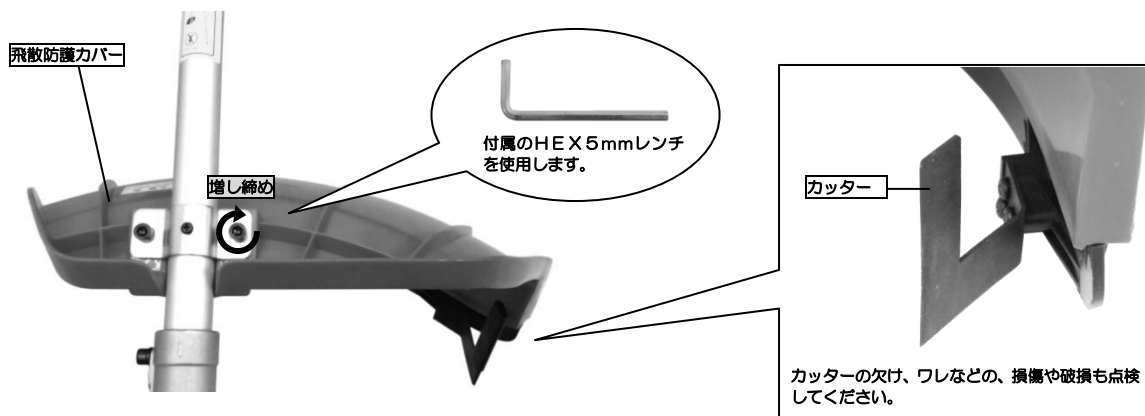
[１１－２．各部点検]

１．ハンドルの点検

・ガタつきを、点検してください。

・ボルトの緩みを点検し、ボルトに緩みがあるときは、増し締めしてください。

２．飛散防護カバーの点検

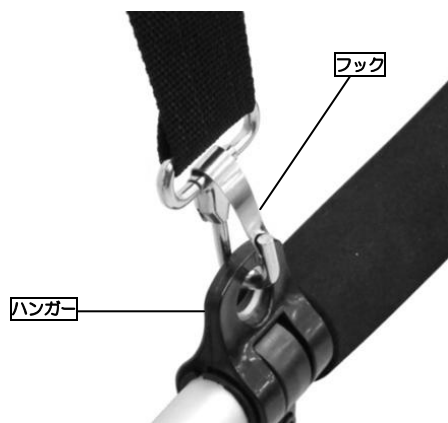
・ワレや欠損などの、損傷や破損を点検してください。

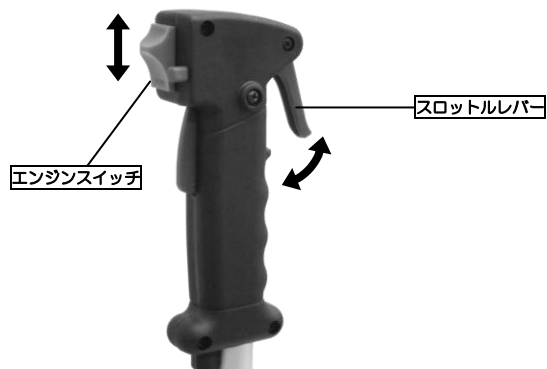
・ボルトの緩みを点検し、ボルトに緩みがある場合は、増し締めしてください。

１１．作業前点検

[１１－２．各部点検]

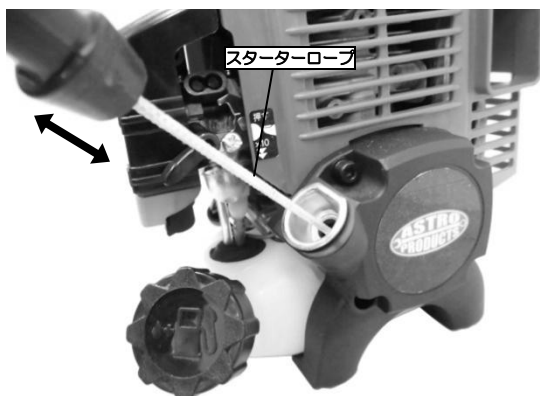
３．ショルダーベルトの点検

・ほつれ、ねじれ、切れなどの、損傷や破損を点検してください。

・フックがハンガーに、しっかり取り付けられているか点検してください。

４．スロットルレバー・エンジンスイッチの点検

・スロットルレバー・エンジンスイッチが、スムーズに作動するか点検してください。

５．スターターハンドルの点検

・スターターロープのほつれ、ねじれ、切れなどの、損傷や破損を点検してください。

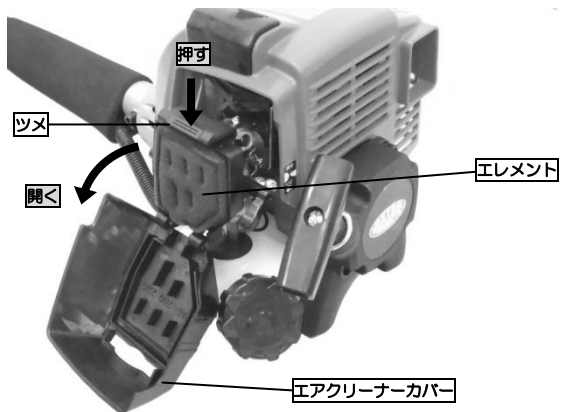
・スターターハンドルが、スムーズに作動するか点検してください。

１１．作業前点検

[１１－２．各部点検]

６．エアクリーナーカバー・エレメントの点検

・エアクリーナーカバーのワレ、変形などの、損傷や破損を点検してください。

・エレメントを点検し、汚れている場合は、清掃（※５１ページ［１６－４．エレメント清掃]項目参照）してください。

・エレメントが損傷、破損している場合は、新品に交換してください。

ツメを押しながら、エアクリーナーカバーを開けます。

７．ギアケースの点検

・駆動軸を左右に回し、ガタつきを点検してください。

８．ナイロンカッターの点検

・緩みを点検してください。緩みがある場合は、締め込んでください。

・ナイロンカッターのワイヤーがない場合は、新品と交換してください。

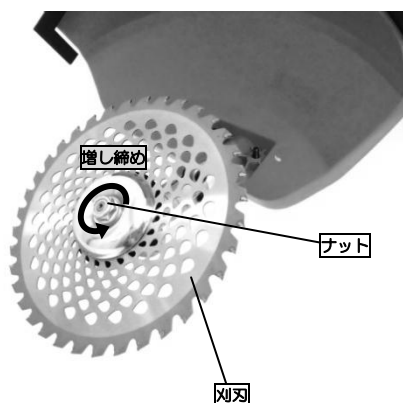
１１．作業前点検

[１１－２．各部点検]

９．刈刃（別売）の点検

・ガタつきがないか点検し、ガタつきがある場合は、取り付け直してください。

・ナットの緩みを点検し、ナットに緩みがある場合は、増し締めしてください。

・刈刃カバーを外し、ヒビ割れ、刃の欠け、曲がり・変形、刃の摩耗、熱による変色などの損傷や破損がある場合は、新品と交換してください。

⚠注意

●刈刃を点検ときは、必ず安全手袋を装着してください。

・安全手袋未装着状態は、手や指をケガする恐れがあります。

[ヒビ割れ]

[刃の欠け]

[曲がり・変形]

[刃の摩耗]

⚠危険

●刈刃の損傷、破損状態での使用は、絶対に止めてください。

・ケガや重大な事故の原因となります。

１２．燃料の給油

[１２－１．燃料給油前の確認]

１．燃料給油の留意点

危険

●燃料の給油は、安全確認を怠ると火災や爆発の危険があります。次の内容に、必ず従ってください。
・タバコを吸わない。
・火気や火気を発生させる物の側で給油しない。
・通気のよい場所で給油する。
・静電気を除去してから給油する。
・エンジンを停止させる。

●給油後は燃料の漏れがないことを確認し、燃料が漏れている場合は絶対に使用しないでください。
・漏れた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

●燃料がこぼれた場合は、ただちに拭き取り、完全に乾燥するまでは、絶対に給油しないでください。
・こぼれた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

●エンジンの始動は、給油した場所より、３m以上離れた場所で始動してください。
・燃料がこぼれている可能性があり、こぼれた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

警告

●タンクキャップは、確実に締め付けてください。
・締め付け不足は、燃料漏れの原因となります。

●燃料が、皮膚に付着してしまった場合は、以下の処置を施してください。
・石けんと水で、よく洗い流してください。

●燃料が、誤って口や目に入った場合は、ただちに以下の処置を施してください。
・ただちにきれいな水で、少なくとも１０分間はよく洗い流し、医師の診断を受けてください。

注意

●無鉛レギュラーガソリンと２サイクルエンジンオイルを、混ぜ合わせた燃料を使用してください。
・他の燃料の使用は、止めてください。

●燃料給油中、燃料タンク内に水が入らないよう、注意してください。
・エンジン始動困難、エンジン不調、本体故障の原因となります。

●本製品は、混合ガソリンを使用するため、混合比（１：４０）を間違わないでください。
・混合ガソリン以外の燃料の給油や、混合比を間違うと、エンジン始動困難や不調、本体故障の原因となります。

１２．燃料の給油

［１２－１．燃料給油前の確認］

２．混合油

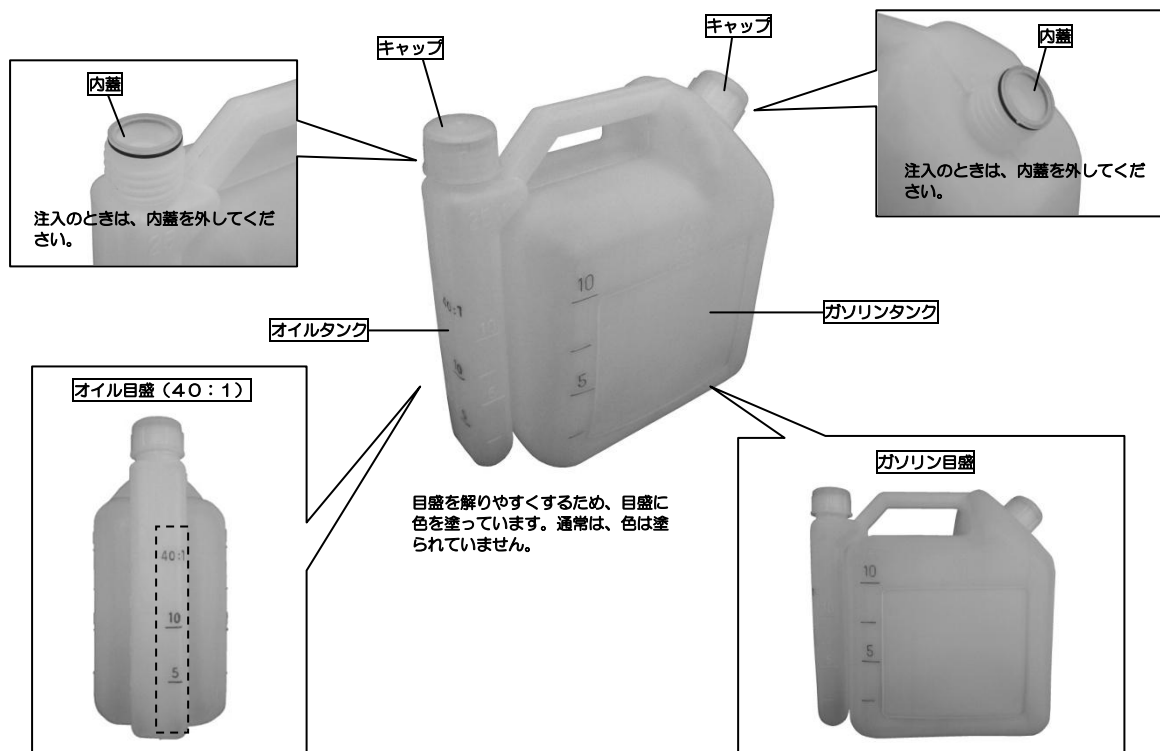
・無鉛レギュラーガソリン＋２サイクルエンジンオイルを混ぜ合わせます。

・混合比：１：４０

３．混合タンク

・混合タンク表面の目盛に従って、ガソリンとオイルを注入し、混ぜ合わせます。

・ガソリンタンクとオイルタンクに、同じ目盛まで注入します。例えば、ガソリンタンクの目盛「１０」まで注入した場合、オイルタンクも目盛「１０」まで注入します。

・注入後は、内蓋をしてキャップを確実に締め、上下左右によく振ります。

［１２－２．燃料の給油］

・燃料キャップを開け、混合油を給油します。

・容量：０．４Ｌ

・燃料給油後は、燃料キャップを確実に締め付けてください。

１３．エンジンの始動・停止

[１３－１．始動前の確認]

１．エンジン始動の留意点

⚠危険

●排気ガスには、一酸化炭素が含まれているので、通気がよく、常に換気のできる場所で使用してください。室内・車内・倉庫内・トンネルなど、通気の悪い場所での使用は、絶対に止めてください。
・通気の悪い場所では、一酸化炭素が溜まります。一酸化炭素を吸い込むと、ガス中毒の原因となり、非常に危険です。

⚠警告

●エンジン始動は、平らな場所に置き、本体をしっかり押さえながら始動してください。
・肩から掛けた状態や、不安定な場所でのエンジン始動は、ケガや事故の原因となります。
●エンジン始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
・ケガや事故の原因となります。

⚠注意

●エンジン始動は、操作手順に従ってください。
・始動手順に従わないと、エンジン始動困難や、ケガや事故の原因となります。

２．エンジン始動場所について

[エンジン始動に不適正な場所]

・通気の悪い場所（室内・車内・倉庫内・トンネルなど）
・燃料を給油した場所
・建物の近く
・路面が不安定な場所

[エンジン始動に適した場所]

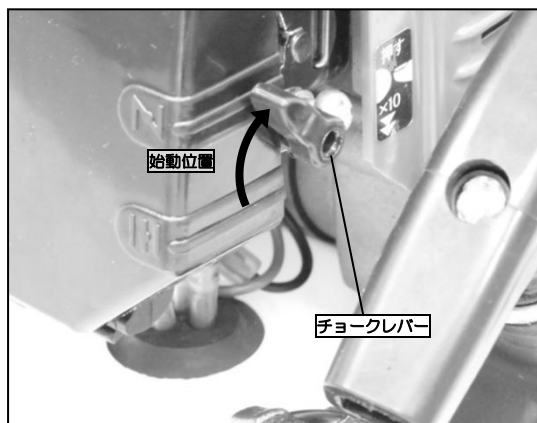
・通気がよく、換気のできる場所
・燃料給油場所より、３ｍ以上離れた場所
・建物より、１ｍ以上離れた場所
・固く平らな路面

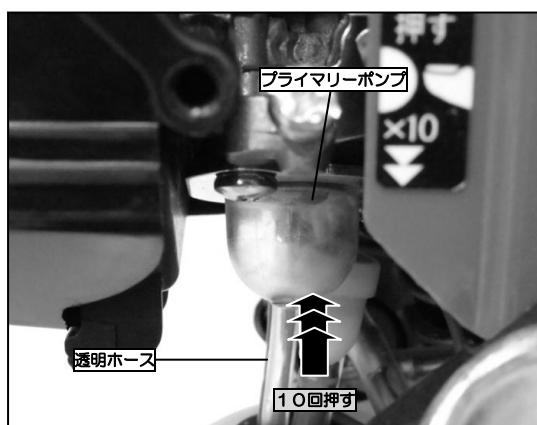
１３．エンジンの始動・停止

［１３－２．始動操作手順］

1 エンジンスイッチを、ＲＵＮ位置にします。

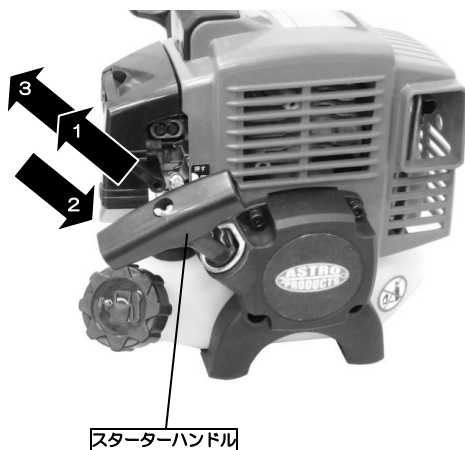
・必ず、平らな場所に置いた状態で、始動操作してください。肩に掛けた状態では、始動操作しないでください。

2 チョークレバーを、始動位置にします。

・エンジンが暖まっているときは、チョークレバーを運転位置で始動してください。

3 プライマリーポンプを、１０回押します。

・透明ホースからタンク内に、燃料が戻ることを確認してください。
・１０回以上、押さないでください。

１３．エンジンの始動・停止

[１３−２．始動操作手順]

4 スターターハンドルを引きます。

[スターターハンドルの操作]

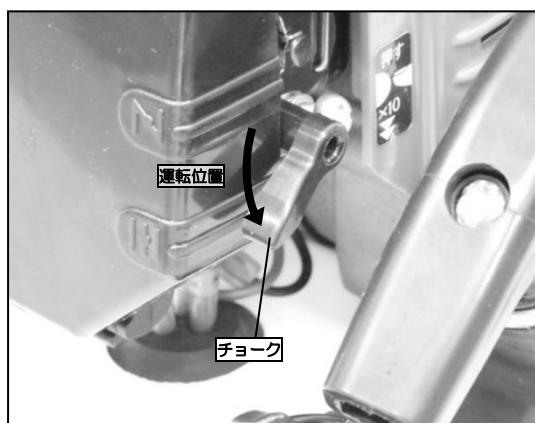
１）本体をしっかり押さえてください。

２）スターターハンドルが、重くなる位置まで軽く引きます。

３）スターターハンドルを、手放さずに戻します。

４）勢いよく、スターターハンドルを引きます。

※エンジンが始動するまで繰り返します。

5 チョークレバーを、運転位置に戻します。

・エンジン回転数が、安定することを確認しながら、徐々にチョークレバーを、運転位置に戻します。

・チョークレバーを戻したら、１〜２分間暖機運転してください。

・暖機運転が完了するまでは、平らな場所に置いた状態で、スロットルレバーは操作しないでください。

１３．エンジンの始動・停止

[１３－３．停止前の確認]

１．エンジン停止の留意点

危険

●排気ガスには、一酸化炭素が含まれているので、通気がよく、常に換気のできる場所で使用してください。室内・車内・倉庫内・トンネルなど、通気の悪い場所での使用は、絶対に止めてください。
・通気の悪い場所では、一酸化炭素が溜まります。一酸化炭素を吸い込むと、ガス中毒の原因となり、非常に危険です。

警告

●エンジン停止直後の、エンジン、マフラー、その周辺は、大変高温になっています。
・手で触れるとヤケドの恐れがあり、周囲に燃えやすい物があると、火災の原因となります。

●エンジンを停止しても、惰性で回転します。完全に回転が止まるまで、地面に置いたり、触れたりしないでください。
・ケガや事故の原因となります。

注意

●刈刃を装着しているときは、回転が完全に停止したことを確認し、刈刃カバーを付けてください。
・ケガの原因となります。

２．エンジン停止場所について

[エンジン停止に不適正な場所]

・通気の悪い場所（室内・車内・倉庫内・トンネルなど）
・燃料を給油した場所
・建物の近く
・路面が不安定な場所

[エンジン停止に適した場所]

・通気がよく、換気のできる場所
・燃料給油場所より、３m以上離れた場所
・建物より、１m以上離れた場所
・固く平らな路面

１３．エンジンの始動・停止

［１３－４．停止操作手順］

1 スロットルレバーより、手を離します。

2 エンジンスイッチを、ＳＴＯＰ位置にします。

・回転が完全に停止するまでは、地面に置かないでください。

１４．作業前準備

［１４−１．作業場所の確認］

●次の作業環境下では、使用しないでください。人体への損傷や、物品への損害など、重大な事故の原因となります。

・足元が滑りやすく、不安定な場所
・早朝や夜間、霧が発生し視界が悪く、周囲の安全をよく確認できないとき
・吹雪、強風、雷の発生など、悪天候時
・急傾斜など、転倒の恐れがある場所
・ガソリン、軽油、灯油などの、燃料がある場所
・腐食性ガスの発生する場所
・通気が悪く、換気のできない場所
・木片、空き缶、空きビン、石、針金、ナワ、ビニール、金属片などの異物が落ちている場所

［１４−２．服装の準備］

●作業中、飛散した砂利や小石などによって。ケガの恐れがあるので、必ず次の服装・保護具を着用してください。

・袖じまりのよい長袖の上着を着用し、ボタンやファスナーは最後まで閉じ、裾はズボンに入れます。
・裾じまりのよい長ズボンを着用し、長靴着用時は裾を中に入れ、安全靴着用時は裾を上部に、挟み込みます。
・保護メガネ（ゴーグル）または、フェイスガードを着用します。
・保護帽（ヘルメット）を着用し、髪が長い場合は束ねてから、保護帽（ヘルメット）を着用します。
・滑りにくい先芯入りの長靴または、滑りにくい先芯入りの安全靴（ヒモなし）を着用します。
・防振性の高い手袋（防振手袋）を着用します。
・すね当てを着用します。

●次の服装などは、巻き込まれケガをしたり、事故の原因となりますので、止めてください。

・長髪を束ねたりせずに、そのままの状態にしている。
・ネクタイや、ネックレスなどの装飾具を身に付けている。
・首に、タオルを巻き付けている。
・サイズの極端に大きな衣服や、だぶだぶの衣類を着用している。

１４．作業前準備

［１４－３．本体保持位置の確認］

⚠危険

●ショルダーベルトは、必ず装着してください。

・ショルダーベルトを装着しないと、万が一転んだときに、回転しているナイロンカッターまたは、刈刃が身体にあたり、ケガや事故の原因となります。

⚠警告

●ナイロンカッターまたは、刈刃の高さが、地面より約１０ｃｍの高さで水平になるよう、ショルダーベルトを調整し、正しい位置で保持してください。

・調整するときは、必ずエンジンを停止し、地面より約１０ｃｍの高さを保持できない場合は、使用を止めてください。

●極端に身長が高い人または、身長の低い人は、正しい位置で本体を保持できない可能性があります。

・地面より約１０ｃｍの高さを保持できない場合は、使用を止めてください。

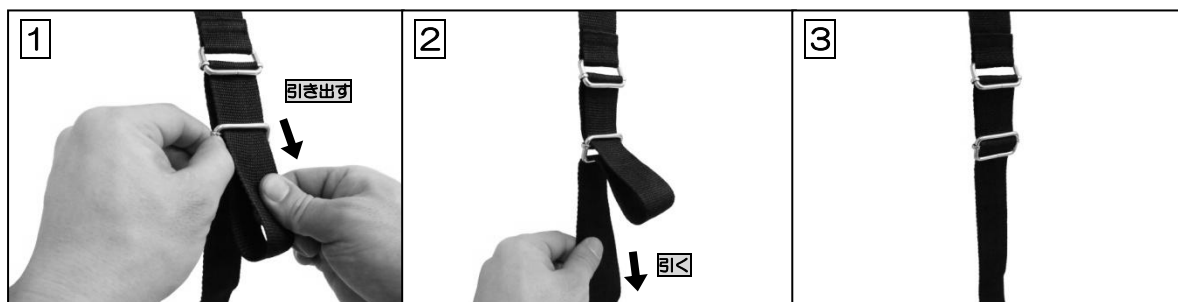
●正しい位置で保持し、無理な姿勢では、使用しないでください。

・ケガや事故の原因となります。

●本体が右側にくるよう、左肩から、たすき掛けにし、本体保持位置を確認します。

・ナイロンカッター、または刈刃が、地面より約１０ｃｍの高さで水平になるよう、ショルダーベルトの長さを調整してください。

●ショルダーベルトの調整方法

［長くする］

［短くする］

１５．草の刈り方

[１５－１．刈り払い作業時の身体に対する留意点]

１．振動傷害

●使用者の体質によって、指が白くなり感覚がなくなる症状や、手や指、腕がしびれたり、冷え、こわばりなどが持続的に現れる、振動障害を発症することがあります。発症には個人差があり、発症させないためにも、次の内容を守ってください。

・作業時間を制限し、振動を受ける時間を減らしてください。

・身体を温かく保ってください。

・手や指先、腕を冷やさないでください。

・頻繁に休憩をとってください。

・腕の運動をし、血行をよくしてください。

・作業中の喫煙は、止めてください。

・振動障害の症状が見られた場合は、ただちに作業を中止し、医師の診断を受けてください。

２．作業時間

●国有林では、作業者の健康管理のため、作業時間の基準が設けられています。長時間作業による、振動傷害の発症を防ぐためにも、次の時間および、日数内で作業してください。

・１回の連続作業時間：３０分以内

・１日の作業時間：２時間以内

・連続作業日数：３日を限度

・１週間の作業日数：５日以内

・１ヶ月の作業時間：４０時間以内

３．熱中症

●周辺温度が４０℃以上になる高温な場所、直射日光下では、使用しないでください。

・高温による脱水症状や、熱中症になる恐れがあります。休憩をこまめに行い、十分な水分補給をしてください。

１５．草の刈り方

［１５－２．ナイロンカッター］

１．ナイロンカッター使用時の留意点

⚠危険

●作業をはじめる前に、異物がないかよく確認してください。木片、空き缶、空きビン、石、針金、ナワ、金属片などの異物がある場合は、全て取り除いてください。
・ナイロンカッターの損傷や、異物が飛散し、ケガや重大な事故の原因となります。

●ケガや重大な事故の原因となるので、次の操作は、絶対に止めてください。
・ナイロンカッターまたは刈刃に、顔や手を近づけた状態で、スロットルを操作する。
・回転しているナイロンカッターまたは刈刃に、手や足を近づける。
・回転しているナイロンカッターまたは刈刃を、膝より上にあげる。
・身体に近い状態で、ナイロンカッターまたは刈刃を、回転させる。

●作業中は、半径１５m以内に、作業者以外の人や動物を近づけないでください。
・石や刈った草、刈刃の破片が飛散し、ケガや事故の原因となります。

●巻き付いた草を、取り除くときは、必ずエンジンを停止してください。また、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグキャップを抜いてください。
・エンジン始動中に作業すると、草を取り除いた途端に、回転する可能性があり、ケガや重大な事故の原因となります。

⚠警告

●ナイロンカッターを、地面に食い込ませたり、掘り返す刈り方は、止めてください。
・砂や砂利、石などが飛散し、大変危険です。

●打つ、叩くなどの刈り方は、止めてください。
・勢いよく跳ね返るキックバックや、ナイロンカッターが破損し、ケガや事故の原因となります。

●枝打ち作業には、使用しないでください。
・ケガや事故の原因となります。

●ホコリよけカバーを掛けたまま、使用しないでください。
・エンジンやマフラーの熱で、カバーが溶ける恐れがあり、火災の原因となります。

●素手でナイロンカッターに詰まった草を、取り除かないでください。必ず、安全手袋を着用してください。
・ケガの原因となります。

⚠注意

●草が絡まった状態では、使用しないでください。
・本体故障や、事故の原因となります。

●付属のキーレンチやＨＥＸレンチを使用した後は、必ず取り外してください。
・使用箇所に取り付けた状態での使用は、ケガや事故の原因となります。

１５．草の刈り方

[１５－２．ナイロンカッター]

２．刈り方

1 エンジンを始動（※３９ページ［１３－２．始動操作手順]項目参照）します。

2 本体を正しく保持します。

・ショルダーベルトを肩に掛け、本体を右側にします。

・スロットルグリップ・グリップを、囲むようにしっかり握ります。

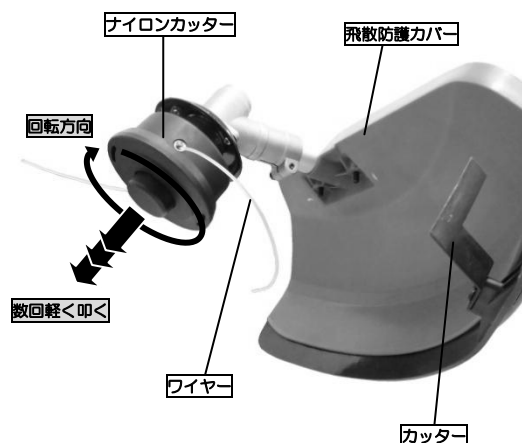
3 スロットルレバーを、2/3以上開け、高回転を保ちます。

4 「左」から右に、振るように刈ります。

・ワイヤーの先端で、草を刈ります。

・１回で刈らずに、２～３回に分けて刈ってください。

・硬い物がある場合は、５ｃｍ以上離してください。

5 ナイロンカッターが消耗したら、次の操作を行ってください。

・ナイロンカッターを回転させた状態で、数回地面に軽く叩きつけます。

・ワイヤーが自動で送り出され、カッターで適切な長さに切断されます。

・ワイヤーが送り出されない場合は、新品と交換してください。

6 作業終了後または、作業を中断するときは、ただちにエンジンを停止（※４２ページ［１３－４．停止操作手順]項目参照）します。

１５．草の刈り方

［１５－３．刈刃（別売）］

１．刈刃（別売）使用時の留意点

⚠危険

●作業をはじめる前に、異物がないかよく確認してください。木片、空き缶、空きビン、石、針金、ナワ、金属片などの異物がある場合は、全て取り除いてください。
・刈刃の損傷や、異物が飛散し、ケガや重大な事故の原因となります。
●ケガや重大な事故の原因となるので、次の操作は、絶対に止めてください。
・ナイロンカッターまたは刈刃に、顔や手を近づけた状態で、スロットルを操作する。
・回転しているナイロンカッターまたは刈刃に、手や足を近づける。
・回転しているナイロンカッターまたは刈刃を、膝より上にあげる。
・身体に近い状態で、ナイロンカッターまたは刈刃を、回転させる。
●作業中は、半径１５m以内に、作業者以外の人や動物を近づけないでください。
・石や刈った草、刈刃の破片が飛散し、ケガや事故の原因となります。
●巻き付いた草を、取り除くときは、必ずエンジンを停止してください。また、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグキャップを抜いてください。
・エンジン始動中に作業すると、草を取り除いた途端に、回転する可能性があり、ケガや重大な事故の原因となります。

⚠警告

●刈刃を、地面に食い込ませたり、掘り返す刈り方は、止めてください。
・砂や砂利、石などが飛散し、大変危険です。
●打つ、叩くなどの刈り方は、止めてください。
・勢いよく跳ね返るキックバックや、刈刃が破損し、ケガや事故の原因となります。
●枝打ち作業には、使用しないでください。
・ケガや事故の原因となります。
●ホコリよけカバーを掛けたまま、使用しないでください。
・エンジンやマフラーの熱で、カバーが溶ける恐れがあり、火災の原因となります。
●素手で、刈刃に詰まった草を、取り除かないでください。必ず、安全手袋を着用してください。
・ケガの原因となります。
●石、縁石、壁、フェンス、木の根、杭などの、硬質な固定物がある場所では、刈刃を使用しないでください。
・勢いよく跳ね返るキックバックや、刈刃が破損し、ケガや事故の原因となりますので、ナイロンカッターまたは、手刈りで草を刈ってください。
●刈刃が、障害物に接触した場合、ただちにエンジンを停止し、曲がりやヒビ、割れ、欠損などの、損傷や破損がないか、点検してください。
・損傷や破損した状態での使用は、破片が飛散する恐れがあり、ケガや事故の原因となります。

⚠注意

●刈刃カバー取り付けているときは、必ず作業前に取り外してください。
・取り付けた状態での使用は、ケガや本体故障の原因となります。
●草が絡まった状態では、使用しないでください。
・本体故障や、事故の原因となります。
●付属のキーレンチやＨＥＸレンチを使用した後は、必ず取り外してください。
・使用箇所に取り付けた状態での使用は、ケガや事故の原因となります。

１５．草の刈り方

［１５－３．刈刃（別売）］

２．刈り方

1 **エンジンを始動（※３９ページ［１３－２．始動操作手順］項目参照）します。**

2 **本体を正しく保持します。**

・ショルダーベルトを、肩に掛け、本体を右側にします。

・スロットルグリップ、グリップを、囲むようにしっかり握ります。

3 **スロットルレバーを、半分程開けます。**

4 **「右」から左に、振るように刈ります。**

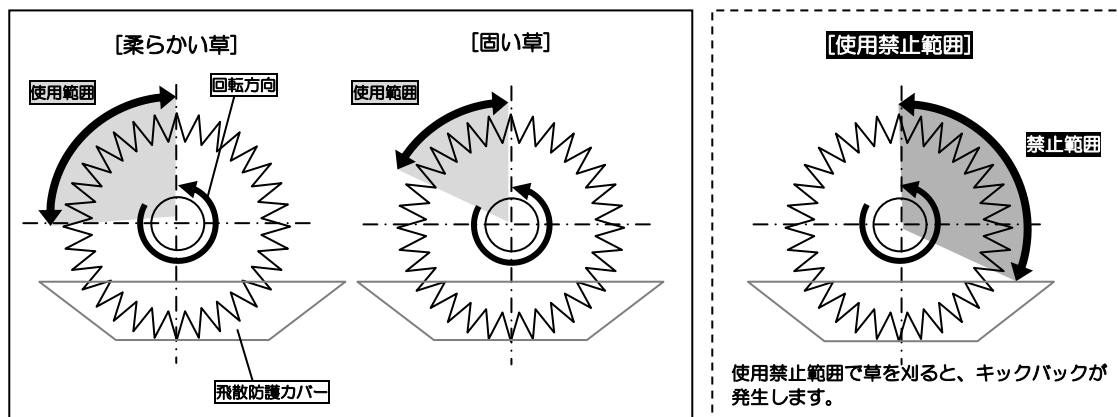
・使用禁止範囲での使用は、キックバックの原因となるので、止めてください。

・１回で刈らずに、２～３回に分けて刈ってください。

・硬い草や、密集した草を刈るときは、回転数を上げてください。

⚠危険

●刈刃は、必ず右から左に振りながら、草を刈ってください。
・左から右に振りながら草を刈ると、勢いよく跳ね返るキックバックが発生し、刈刃の破損、ケガや事故の原因となります。

●刈刃の使用範囲で、使用してください。使用禁止範囲では、絶対に使用しないでください。
・使用禁止範囲での使用は、キックバックの原因となります。

5 **作業終了後または、作業を中断するときは、ただちにエンジンを停止（※４２ページ［１３－４．停止操作手順］項目参照）します。**

１６．点検・整備

[１６－１．点検・交換時の留意点]

危険

●点検・清掃するときは、エンジンを停止し、誤ってエンジンが作動しないように、スパークプラグからプラグキャップ抜いてください。
・エンジン始動状態での作業は、ケガや重大な事故の原因となります。

警告

●エンジンやマフラーが、完全に冷めてから、点検・清掃してください。
・加熱された状態での点検・清掃は、ヤケドや火災など事故の原因となります。

[１６－２．定期運転・交換]

●保管状態でも、常に使用できる状態を保つため、定期運転・交換を行ってください。

[定期運転]

・１ヶ月に一度、エンジンの始動状態を確認してください。

[定期交換]

・燃料を、燃料タンクに残したまま保管する場合は、燃料の変質を防ぐため、１ヶ月に１度、燃料を交換してください。
・長期間保管する場合は、必ず燃料を全て抜いてください。

[１６－３．点検・交換目安]

・目安時間・期間が経過したら、速やかに点検・交換してください。
・点検・交換目安は、期間毎、または運転時間毎のどちらか早い方で行ってください。
・各点検交換作業は、必ずエンジンを停止させてください。

[点検目安表]

	使用前点検（毎回点検）	１ヶ月または２０時間運転	３ヶ月または５０時間運転	６ヶ月または１００時間運転	１年または３００時間運転
エアクリーナー	点検・清掃※1		点検・清掃	点検・清掃	
スパークプラグ				点検・清掃・調整	交換
ギアケース		点検・清掃			

※1）ホコリなどが多い場所で使用した場合、エアクリーナーを１０時間運転後、または1日１回清掃してください。

１６．点検・整備

[１６－４．エレメント清掃]

１．エレメント清掃の留意点

⚠警告

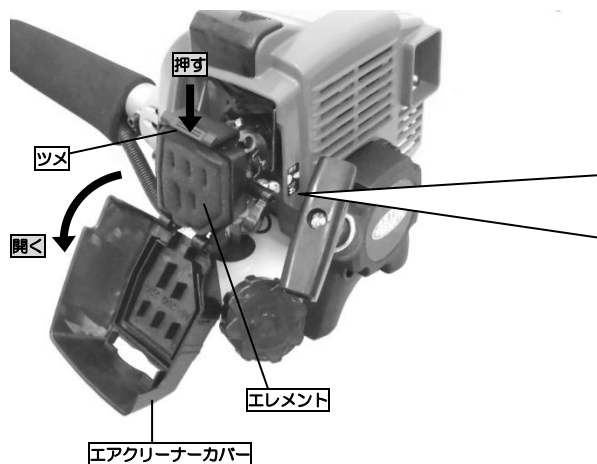
●エレメントが付いていない状態で、エンジンを始動させないでください。
・エンジンの不調や故障、事故の原因となります。

⚠注意

●エレメントを損傷させないよう、注意してください。
・損傷したエレメントを使用すると、本体故障の原因となります。
●エレメントに損傷がある場合は、新品と交換してください。
・損傷したエレメントを使用すると、本体故障の原因となります。

２．エレメント清掃時期

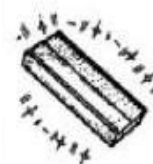
・通常：３ヶ月、または５０時間運転後
・使用時：使用前、または１０時間運転後

３．エレメント清掃

1 ツメを押しながら、エアクリーナーカバーを開けます。
2 エレメント取り外し、清掃します。
3 清掃したエレメントを、取り付けます。
4 エアクリーナーカバーを閉じ、ツメでロックします。

[エレメントの清掃]

1 洗浄油（白灯油３：エンジオイル１）で、エレメント洗浄します。

2 エンジンオイルに、浸します。

3 エレメントを絞り、余分なオイルを取り除きます。このとき、強く絞り過ぎないでください。

4 エレメントの損傷がないか確認し、取り付けます。

１６．点検・整備

［１６−５．スパークプラグ点検・清掃・交換］

１．スパークプラグ点検・清掃・交換の留意点

⚠警告

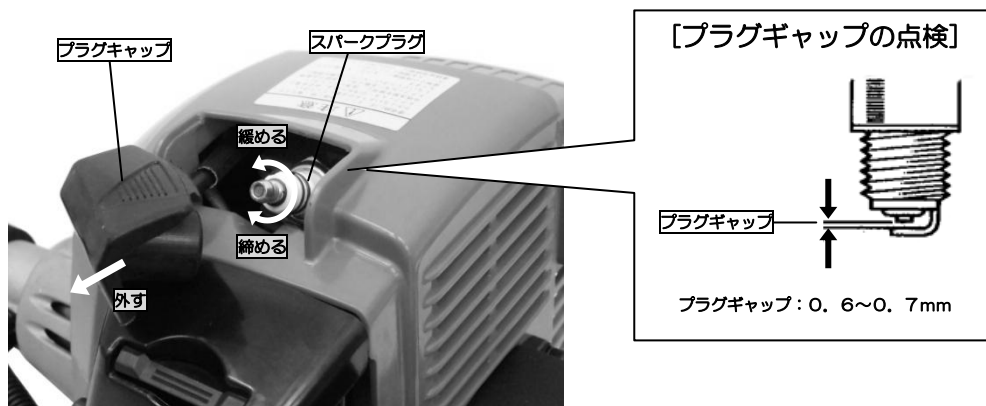
●エンジン停止直後のスパークプラグは、大変高温になっています。
・ヤケドの恐れがあるので、必ず冷めてから取り外してください。
●スパークプラグの碍子を、損傷させないでください。
・碍子の損傷は、漏電や火災の原因となります。
●指定されたスパークプラグ以外は、使用しないでください。
・指定外のスパークプラグを使用すると、故障や事故の原因となります。

２．スパークプラグ点検・清掃・交換時期

●点検・清掃：６ヶ月、または１００時間運転後

●交換：１年、または３００時間運転後

●標準スパークプラグ：ＷＳＲ６Ｆ（ＢＯＳＣＨ）/ＢＰＭＲ６Ａ（ＮＧＫ）

３．スパークプラグの取り外し

1 プラグキャップを外します。
2 キーレンチで、スパークプラグを取り外します。
3 ワイヤーブラシで、電極に付着したカーボンを除去します。
4 プラグギャップを点検します。
5 スパークプラグを、手で軽く締め込みます。
6 キーレンチで、スパークプラグを締め付けます。
7 プラグキャップを、奥までしっかり押し込みます。

１６．点検・整備

[１６−６．ギアケース点検]

１．ギアケース点検の留意点

⚠注意

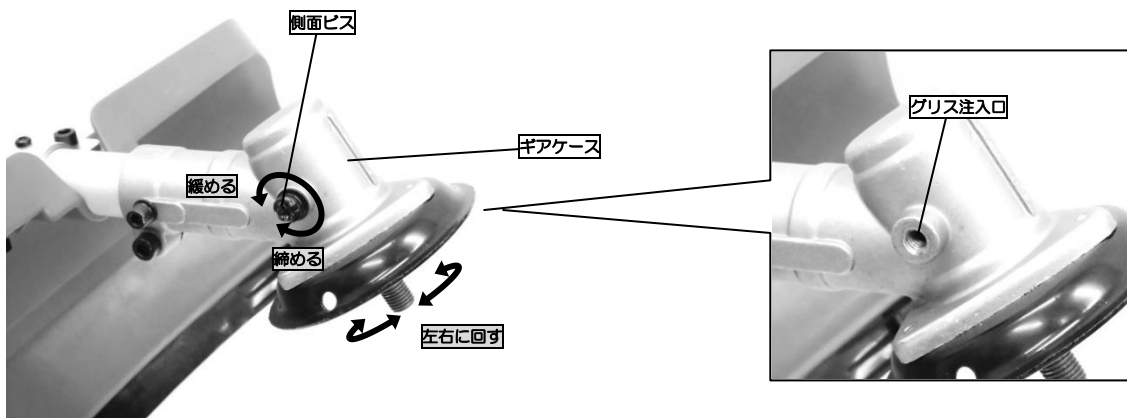
●刈刃を装着している場合は、刈刃に刈刃カバーを取り付け、刈刃を取り外してください。
・ケガの原因となります

２．ギアケース点検時期

●点検：２０時間運転後

●点検内容：ギアケースの損傷・破損
駆動軸のガタつき
グリスの注入
増し締め

●グリス：リチウム系耐熱グリス

３．グリスの注入

1 ナイロンカッターまたは、刈刃を取り外します。

2 キーレンチで、側面ビスを緩めます。

3 リチウム系耐熱グリスを注入します。

4 キーレンチで、側面ビスを締め込みます。

5 駆動軸を左右に回し、ガタつきを点検します。

１７．燃料の抜き方

[１７−１．燃料を抜くときの留意点]

⚠危険

●燃料の給油は、安全確認を怠ると火災や爆発の危険があります。次の内容に、必ず従ってください。
・タバコを吸わない。
・火気や火気を発生させる物の側で給油しない。
・通気のよい場所で給油する。
・静電気を除去してから給油する。
・エンジンを停止させる。
●燃料がこぼれた場合は、ただちに拭き取り、完全に乾燥するまでは、絶対に給油しないでください。
・こぼれた燃料に引火し、火災や爆発などの、重大な事故の原因となります。

⚠警告

●燃料が、皮膚に付着してしまった場合は、以下の処置を施してください。
・石けんと水で、よく洗い流してください。
●燃料が、誤って口や目に入った場合は、ただちに以下の処置を施してください。
・ただちにきれいな水で、少なくとも１０分間はよく洗い流し、医師の診断を受けてください。

⚠注意

●１ヶ月以上の長期保管、運搬時には、必ず燃料を抜き取ってください。
・燃料は、長期間放置すると劣化し、エンジン始動困難など、故障原因となります。
●燃料は、ガソリン専用容器に入れてください。
・専用以外の容器は、使用しないでください。
●抜き取った燃料は、お住まいの自治体の処理方法に従ってください。
・処理方法が不明な場合は、専門業者に相談してください。

[１７−２．抜き方]

1 燃料キャップを、開けます。
2 燃料キャップ側に本体を傾け、燃料を抜きます。
・抜いた燃料は、必ずガソリン専用容器に、受けてください。
3 燃料キャップを、閉めます。
4 プライマリーポンプを、透明ホース内の燃料がなくなるまで数回押します。
5 燃料キャップを、開けます。
6 燃料キャップ側に本体を傾け、燃料を抜きます。
・抜いた燃料は、必ずガソリン専用容器に、受けてください。
7 燃料キャップを、閉めます。
8 エンジンが停止するまで、始動させます。

１８．運搬・保管

[１８－１．運搬]

１．運搬時の留意点

⚠警告

●エンジンやマフラーが、完全に冷めてから、運搬してください。
・加熱された状態での運搬は、ヤケドや火災など事故の原因となります。
●燃料タンク内に、燃料を入れたまま運搬しないでください。
・燃料がこぼれる恐れがあり、火災の原因となりますので、必ず燃料を抜いてください。

⚠注意

●刈刃装着状態で、運搬するときは、必ず刈刃カバーを取り付けてください。
・刈刃は、非常に鋭利であり、ケガの恐れがあります。

２．車輌での運搬方法

1. 燃料を全て抜きます。
2. 刈刃を装着している場合は、刈刃カバーを取り付けてください。
3. ホコリよけカバーを掛けます。
4. 本体が動かないよう、ロープなどで固定します。

１８．運搬・保管

［１８－２．保管］

１．保管時の留意点

⚠警告

●エンジンやマフラーが、完全に冷めてから、保管してください。
・加熱された状態での保管は、ヤケドや火災など事故の原因となります。

●燃料タンク内に、燃料を入れたまま保管しないでください。
・燃料がこぼれる恐れがあり、火災の原因となりますので、必ず燃料を抜いてください。

⚠注意

●１ヶ月以上、長期間使用しないときは、必ず燃料を抜いてください。
・燃料の劣化により、エンジン始動困難や故障の原因となります。

●使用者以外、保管場所に近づけないで、施錠のできる場所に保管してください。
・特に子供や幼児は、危険な行動をとることがあるので、絶対に近づけないでください。

●整理整頓された場所に保管してください。
・障害物がある状態は、ショルダーベルトやメインパイプが引っ掛かり、倒れる恐れがあります。

●刈刃装着状態で、保管するときは、必ず刈刃カバーを取り付けてください。
・刈刃は、非常に鋭利であり、ケガの恐れがあります。

２．保管方法

1 燃料を全て抜きます。

2 スパークプラグを取り外し、２サイクルエンジンオイルを、数滴たらします。

3 スターターハンドルを、数回引きます。

4 スパークプラグを取り付けます。

5 スターターハンドルを、重たくなる位置まで、軽く引きます。

6 各部の汚れを取り除き、防錆処理を施します。

7 ホコリよけカバーを掛けます。

8 屋内で湿気がなく、通気性のよい施錠できる場所に保管します。

１９．トラブルシューティング

●対応方法を試しても、症状が改善されない場合、上記以外の症状が確認された場合は、お買い求めの販売店へ相談してください。

症状	原因	対応
エンジンが始動しない。	エンジンスイッチが、ＳＴＯＰになっている。	エンジンスイッチを、ＲＵＮにする。
	プライマリーポンプを押していない。	１０回押す
	スターターハンドルの引きが遅い。	勢いよく引く
	燃料切れ	給油する。
	燃料が古い	新しい燃料に入れ替える
	透明ホースが折れ曲がっている。	燃料が流れるよう修正する。
	スパークプラグが外れている。	スパークプラグを、確実に取り付ける。
	スパークプラグの電極の汚れ	電極を清掃する。
	プラグギャップ不良	プラグギャップを調整する。
	プラグキャップが、外れている。	プラグキャップを、確実に取り付ける。
エンジン回転数が上がらない。 エンジンが止まる。	燃料切れ	給油する。
	燃料が古い	新しい燃料に入れ替える
	混合油を給油していない。	お買い求めの販売店へ、相談してください。
	チョークレバーが、始動位置になっている。	チョークレバーを、運転位置にする。
	エレメントの汚れ・目詰まりしている。	エレメントを清掃する。
回転しない。 ↓ 直ちに、エンジンを停止する！	ナイロンカッターまたは、刈刃の取り付け不良	取り付け直してください。
	ナイロンカッターまたは、刈刃に草などの異物が絡まっている。	異物を取り除いてください。
	駆動軸の異常	お買い求めの販売店へ、相談してください。
回転が止まらない。 ↓ 直ちに、エンジンを停止する！	スロットレバーおよび、ワイヤーの異常	お買い求めの販売店へ、相談してください。
	駆動系の異常	お買い求めの販売店へ、相談してください。
異常に振動する。 ↓ 直ちに、エンジンを停止する！	ナイロンカッターまたは、刈刃に草などの異物が絡まっている。	異物を取り除いてください。
	ナイロンカッターが緩んでいる。	確実に、取り付けてください。
	刈刃の曲がり、ワレ、折れている。	新品と交換してください。
	ナットが緩んでいる。	ナットを、増し締めしてください。
	受具の凸部と、刈刃の穴が合っていない。	確実に、取り付けてください。
エンジンが止まらない。 ↓ チョークレバーを始動位置にする！	エンジンスイッチの異常	お買い求めの販売店へ、相談してください。

２０．破棄について

●本製品を廃棄する場合は、お住まいの各自治体のゴミ廃棄方法に従って、廃棄してください。

●指定された廃棄方法以外で、本製品を廃棄しないでください。

２１．所有者・使用者責任

●所有者および、使用者は当該商品を使用する前に、メーカーからの説明書（警告文）をよく読み、理解しなければなりません。

●資格を持ち、製品の構造および、構成している部品をよく理解し、十分な経験のある人が責任を持って、当該商品を使用した作業を行うようにしてください。

●危険・警告事項は、特によく理解するようにしてください。

●所有者および、使用者は今後の作業のうえで、メーカーからの推奨事項を常に把握し、維持するように、努めてください。

●重要ラベル、説明書については、いつでも読むことができるように、よい状態で保管してください。

２２．故障について

●故障と思われる場合は、自ら修理しないで、お買い求めの販売店、またはカスタマーサービスまで、問い合わせください。

・修理技術者以外の人は、絶対に分解または、修理を行わないでください。

●製品保証規定に該当しない場合は、有償修理となります。有償修理後は、修理箇所のみ、次の修理保証が適応されます。

[修理保証規定]

・製品保証規定外の有償修理に該当します。

・製品修理保証期間は、修理完了後９０日です。なお、製品修理保証は、修理箇所のみ有効となります。

・修理は弊社で販売した製品に限ります。

・製品の修理期間中に、お客様側で発生した損害に関しては、一切保証しません。

・修理期間中の代替製品の貸出はしません。

・修理製品の往復送料は、お客様負担となります。

・弊社側で修理不可能と判断した製品は、修理に応じかねる場合があります。

２３．個人情報の取り扱い

●ご提示いただいた、ご住所、お名前などの個人情報は、修理や相談のためのみに利用させていただきます。

●個人情報は、適切に管理し、修理業務を委託する場合や、正当な理由がある場合を除き第三者に開示、提供することはありません。

２４．お問い合わせ先

[２４－１．カスタマーサービス]

●故障と思われるときや、商品についてのお問い合わせは、下記の番号までご連絡ください。

【ＴＥＬ】：０４８－５０１－７８７３

【受付時間】：月曜日～土曜日　１０：００～１９：００

（日曜日、祝日を除く）

[２４－２．販売元]

●会社名：株式会社ワールドツール

●住所：〒３６９－１１０６　埼玉県深谷市白草台２９０９－５０

【ＴＥＬ】：０４８－５０１－７８７１

【ＦＡＸ】：０４８－５０１－７８７２

【ホームページ】：ｈｔｔｐ：//www．ａｓｔｒｏ－ｐ．ｃｏ.ｊｐ

※住所・電話番号・受付時間が、予告なく変更になることがありますので、ご了承ください。

※上記電話番号が利用できない場合は、各地域の販売店へご連絡ください。

（２０１４年3月）

製品保証書

●この度は、アストロプロダクツ製品をお買上いただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、保証期間内（購入後１８０日）に、正常な使用状態にて故障が発生した場合に、弊社の責任に於いて、無償にて修理、交換することを、約束するものです。保証は、本書に購入レシートまたは、納品署を添付のうえお買い求めの販売店へ提示してください。

購入製品	ＡＰ エンジン刈払機 / 型番：ＡＰ１６０５２０ / コード：２０１６０００００５２０２
購入日	年　月　日
保証期間	購入日より１８０日　※消耗品および、付属品は除きます。
お客様	氏名
	住所 ＴＥＬ：（　）　－

［製品保証規定］

●製品の保証期間は、購入後１８０日です。
●正常な使用状態にて故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理、交換します。
●本保証は、当該製品単体の保証を意味します。製品の故障および、損傷により発生する損害は、保証対象には含まれません。
●本保証は、日本国内においてのみ有効です。海外で発生した故障および、損傷に関しては、保証対象には含まれません。
●保証の可否は弊社が判定します。
●購入日の確認ができない場合は、有償修理として受け付けます。
●製品保証は弊社で販売した商品のみ有効です。
●二次的に発生する損失の補償および、次に該当する場合は保証対象には含まれません。
（イ）使用上の誤り、保守点検、保管などの義務を怠ったために発生した故障および損傷
（ロ）製品の作動機構に悪影響をおよぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障および損傷
（ハ）消耗品が損傷し、取り替えを要する場合
（ニ）地震・火災・風害その他天災地変など、外部に要因がある故障および損傷
（ホ）当社発行の製品保証書、購入レシート、納品書の提示がない場合
（へ）取り扱い店以外での修理による故障、修理後の使用においての故障
（ト）購入後の輸送や移動時の落下や衝撃による故障および損傷

発行店

購入Ｎｏ：

株式会社　ワールドツール
住所：〒３６９－１１０６
埼玉県深谷市白草台２９０９－５０
ＴＥＬ：０４８－５０１－７８７１

※本書は、再発行しませんので、大切に保管してください。